



ヒーロー洗脳悪堕ち！



淫紋の呪いで魔物化し
欲望のままに一般市民と性行為する哀れな戦士

20XX年

「魔物」と呼ばれる存在がこの世界に現れた。。。。

彼らは別次元で進化した生物で

人間と友好関係を築く為、

この世界にやってきたらしい。。。。

グル
グル
ッ

だが。。。。友好関係を築く手段が問題だった。。。。

人間を改造し魔物に変える事で。。。。

友好的な仲間を増やそうとしていたのだ。。。。



欲望のままに生きる「魔物」からこの世界を守る為……

警察は魔物殲滅部隊「魔断」を結成。

身体能力を高める「魔断スーツ」を来た隊員達は
目覚ましい戦果を上げ、魔物を殲滅していった……

「もう、お前一人しか残っていないようだな……」

ただ……魔物達に焦りは無かった……

敵が強ければ強いほど……魔物にした時役立つからだ……



グググ

「人間という種族は強いですねえ。。。♡」

その知恵。。。我らの繁栄に役立てたい♡」

「貴様らに繁栄など無い！」

死にたくなければ元の世界に帰れ！」

「私達は戦うしか
無いようですねえ。。。」



「呪術師 汗すすり。。。参る」

「いっ。。。口の中に暗器を。。。」

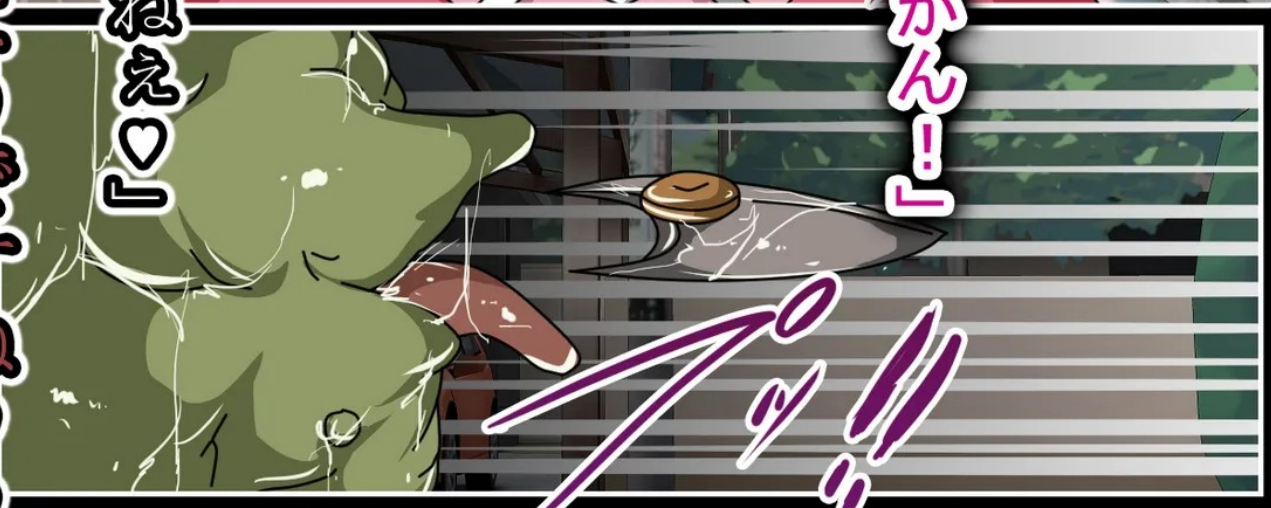
「。。。だが。。。その程度の攻撃。。。」

魔断スーツには効かん！」

「知っていますよ。。。魔物に勝てる

耐久力があるスーツですからねえ♡」

「。。。でも。。。呪いは防げなかったようですね♡♡」



「なっ!...何これっ!」

「スーツが...」

はっ

なんでっ...

ううう

うんうん

「暗器に呪いを掛けておいたんですよ...♡♡

人の欲望を増幅し...魔物に変える淫紋を...♡♡」

「呪い...こいつらそんな能力まで...」



性行為をしたいという欲求を持っていたようですねえ♡♡」

心が望んだ姿に変わる効果がありますから♡♡」

「こんな姿つ……私望んでなんかっ……♡♡」

「あっ……イクっ……♡♡」

「無理は体に良くありませんよ。。。♡♡魔断の隊員さん♡♡」

「ホラ。。。♡♡勃起したクリトリスを

指でこすって。。。♡♡」

「ああ。。。ダメなのにつ。。。♡♡」

「おっすっへ。。。ちやうど。。。♡♡」

「クリちゃん。。。きもちいい。。。♡♡」



イク時はちゃんと。。。マンコイクっ♡♡って

宣言しながらイってくださーいね♡♡」

「はあっ。。。あんっ。。。い。。。言いたくないっ。。。♡♡」

「じゃあ。。。淫紋の力で

強制的にイクのを止めちゃいましようか？」

まん♡♡

「それっ。。。だめっ。。。言っからっ♡♡」

「♡♡マンコイクうううう♡♡」

「いいですねえ。。。♡♡従順な人間は好きですよ。。。♡♡」

「許さないっ……」

「……こんな……こんな辱め……」

「怖い怖い。。。私をどうするつもりなのかな？」

「お前を無理矢理レイプしてやる……♡♡

私のトロトロマンコで魔物チンポ虐めて。。。♡♡」

「逆レイプでしか……いけない体にしてやる……♡♡」

「いいですねえ。。。♡♡」

「頭の中が○○○欲望のままに動く」

魔物らしくなってきました。。。♡♡」



「でも。。。逆レイプは悪い事ですよ♡♡」

「人間と魔物。。。仲良く交尾して友好を深めましょう♡♡」

「仲間を沢山殺した。。。♡♡」

「敵なのに。。。♡♡。良いの？」

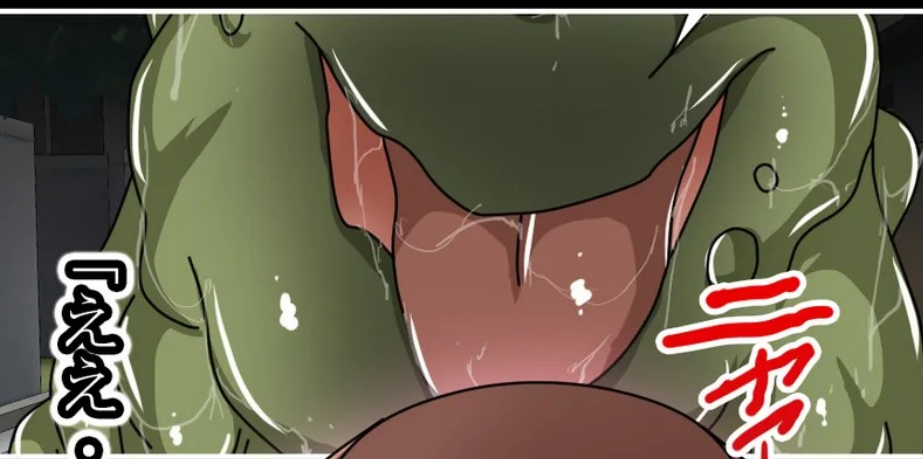
ニヤァ...

「ええ。。。♡♡」

「魔物は人間と♡♡」

「仲良くなりたいたけですから。。。♡♡♡♡」

「魔物がこんなに心優しくなったなんて。。。♡♡♡♡」



「汗すすり様……。私目が覚めました……。♡♡」

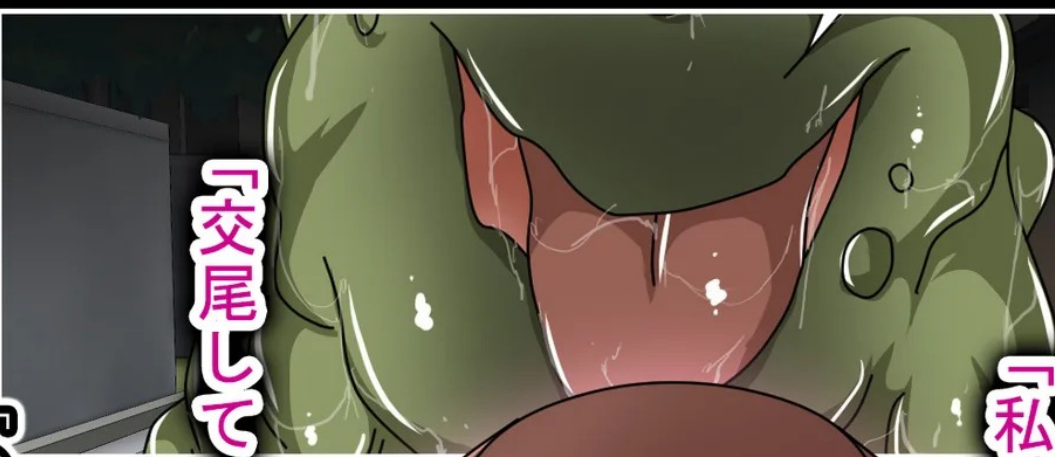
魔物と人間はもつと仲良くなるべきですよね♡♡」

「私と……。交尾してください……。♡♡♡」

「交尾して……。汗すすり様の逞しいチンポ

気持ち良くしてあげたいんです♡♡」

「いいよぉ……。今からタツプリ愛し合おうねえ♡♡」



「ぬふぅ……。人間のメスのマンコは気持ちいいですねえ……。♡♡」

「トロっトロの肉ヒダが

いやらしく吸い付いてきますよ……。♡♡」

「あんっ……。魔物チンポっ……。凄い……。♡♡」

「この穴なら毎日でも使いたい……。♡♡」

「魔物を沢山殺してしまった贖罪として……。♡」

どんな時でも股を開いてチンポを受け入れます♡♡」



「だから……愚かな私を許してください……」

「とても素晴らしいお姫様です……♡♡」

「それだけ心が淫紋に浸食されていれば……」

すぐに魔物になれますよ……♡♡」

「わたしも……魔物に……♡♡」

「魔物になったら……私の妻にして

死ぬまで魔物を産み落とさせてあげますからね……♡♡」



「やった！汁すすり様のお嫁さんになれるなんて♡♡」

「じゃあ。。。魔物の精を注いであげますね。。。♡♡♡」

「はああ。。。あつたかい。。。♡♡♡」

ト

♡♡♡

「子宮が美味しい汁ー」

飲ませて貰えて喜んでる。。。♡♡♡」

「死ぬまで性処理用肉袋として使ってくださいね旦那様♡♡」

キモタイ！♡♡

フリー♡♡



「心が完全に魔を受け入れたようですね。。。。」

淫紋があなたを魔物に変えてくれましたよ。。。。♡♡」

「素敵。。。幸せが溢れてくる。。。♡♡」

「だから魔物さん達は。。。」

人間を魔物に変えようとしていたんだ♡♡」

「そうです。。。自分の欲望を開放し

種族を超えて愛し合う素晴らしさを知って欲しかったのです♡♡」



「あっ……今……お腹の中で何かが……♡♡」

「魔物は一度の交尾で確実にメスを孕ませるのですよ♡♡」

「素敵……日那様の赤ちゃんが

お腹の中にいるんだ……♡♡」

「呪術師としての能力を持った

強力な魔物になるでしょうね……グフフ♡♡」

「早く産んであげて……人間のメスと交尾させてあげたいな♡♡」



「そうだ。。。名前を聞いていませんでしたね？」

「名前。。。人間だった頃の名前忘れちゃった♡♡」

「そうですか。。。では今日から

マンコ怪人ヴィラヴィーラと名乗りなさい♡♡」

あー♡♡

ムン♡♡

ムン♡♡

「私のいやらしいマンコにピッタリな名前♡♡」

「ありがとうございます旦那様。。。♡♡♡♡」

「可愛い妻には。。。可愛い名前が無いとねえ♡♡」

「そうだ。。。私の妻マンコ怪人ヴィラヴィーラとしての

初仕事を頼もうかなあ。。。♡♡」

「今から街へ行って。。。人間のオスに

魔物と交尾する幸せを教えてあげなさい♡♡」

「分かりました。。。旦那様。。。♡♡♡」

「呪術師である私の精液を飲み干した君の子宮なら。。。」「

「人間のオスを誘惑する匂いが出せるから

スグに交尾できると思うよ。。。♡♡♡」

マンコ怪人ウイルスとして生まれ変わった彼女は……
守るべき人間を魔物に変える非情な存在となっていた……

「私はマンコ怪人ウイルス」

「さっ!! そんなに怖がらなくていいのよ……♡♡♡」

「うわっ」

「魔物ってね……とっても素晴らしいの♡♡♡」

「あなた達にも……その事を教えてあげる♡♡♡」

「な……なんだあいつ!」

「魔断スーツを着た魔物?」





「ほーら……。私のオマンコの匂いを嗅いで……。♡♡♡」

「おちんちん……。気持ち良くなってきたでしょ♡♡」

「おい……。逃げようぜ……。」

「ううう」

「チャ」

♡♡♡

「その素敵な人間チンポ……」

「私の体で気持ち良くしてあげるからね……。♡♡♡」

「さあ……。ズボンを脱いで……。♡♡♡」

「はい。。。ヴィラヴィーラ様。。。♡♡」

「ふふっ。。。素敵なチンポ。。。はむっ。。。♡♡」

ちゅ「何やってるんだよ！そいつ魔物だぞ！」

ちゅぽっ♡♡

「はああ。。。チンコがとろけそう。。。♡♡」

魔物のロマンコ最高。。。♡♡」

「いっぴやい。。。しゃせいしてえ。。。♡♡」

ぐっ♡♡

「じゅる……。じゅるるるっ……。♡♡」

「あああ……。射精っ……。しますっ……。♡♡」

「んふうう……。おいひい……。♡♡」

「まもによのロまん……。きもちよかつら……。♡♡」

「最高です！魔物のメスと交尾したくなりました！」

「ふふっ……。いっしょ……。♡♡」



「あなたとも……。気持ちいい事したいなあ……。♡♡」

「はなせっ！……。魔物とセックスなんかしたくないっ！」

「私も初めはそうだった……。でも旦那様と交尾して変わったの♡♡」

「魔物と人間は……。もつと仲良くなるべきだって……。♡♡」

「さあ……。私のいやらしい魔物マン」の匂いを嗅いで……。心をひらいて♡♡」



「ああ……。女と交尾したい……。♡♡♡♡♡」

無理矢理犯して自分の子供を孕ませたい……。♡♡♡♡♡」

「ふふっ……。本性が出てきた……。♡♡♡♡♡」

「魔物のメスは……。複数の子を一度に孕めるの……。♡♡♡♡♡」

「はやく……。早くマンコ使いたいっ！」

「今は旦那様の子を孕んでるけどあなたの精子でも可愛い魔物を作ってあげるね……。♡♡♡♡♡」



「うひい。。。。魔物マンコ最高♡♡」

避妊せず快樂とマーキングの為にマンコ使うの最高の♡♡」

「これだけ欲望が強ければ。。。。魔物となった時

沢山の人間のメスを孕ませられそう♡♡」

「射精したくなったら

とろつとろの淫乱肉穴にタツプリ流し込んでね。。。。♡♡♡♡」

「この穴は全てのオスの為の精液便所だから。。。。♡♡♡♡」



「いぐっ！魔物マンコでイグうううううう。。。♡♡」

「あなた達。。。魔物のメスや人間のメスと

もっともっと気持ちいい事したいでしょ。。。♡♡」

「私の旦那様の呪術で魔物に改造してもらいなさい。。。♡♡」

そうすれば好きな時に好きなだけ交尾できるわよ♡♡」

「か。。。改造して貰って魔物になります。。。♡♡」

ド
ド
ド
♡♡



「ねえ君……。私が**交尾**してた時……。こっそり覗いてたでしょ♡」

「う……。ごめんなさいっ……」

殺さないでっ……。」

「殺したりしないわ♡♡」

はぁ♡♡

「魔物はみーんな人間と仲良くなりたいと思っているの……。♡♡♡」

「君が……。私の体を好きにしたいっというなら♡♡」

どんな事でもしてあげるよ♡♡」



「さあ。。。本性を晒して。。。♡♡」

「僕。。。魔物のお姉さんのマンコ舐めたい。。。♡♡♡♡♡」

マン汁で。。。顔にマーキングして欲しい♡♡」

「素敵な欲望。。。晒しちゃったね。。。♡♡♡♡♡」

私も君みたいな可愛いコにおまんこ舐めさせたいな♡♡」

「じゃあ。。。いまからエッチな交流しようか。。。♡♡♡♡♡」



「はあ。。。はあ。。。♡♡」

「じゅる。。。じゅるるっ。。。♡♡」

「んっ。。。可愛い顔してっ。。。凄くいやらしい舐め方。。。♡♡」

はっ♡
はっ♡

はっ♡

「クリトリスや尿道に吸い付いてっ。。。♡♡」

「マンコに美味しい汁出すようにっ。。。♡♡促してる♡♡」

「こんな事されたらマン汁垂れ流しになっちゃうっ♡♡」

手区画50
せ17-

「あっ……。はああ……。♡まんこイっちゃった……。♡♡♡」

魔物のマン汁でマーキングされる気分はどう……。？」

「もっと沢山のマンコに……。マーキングされたい♡♡」

「あなたもきつと……。良い魔物になるわ……。♡♡♡」

「魔物になったら人間のメスのマンコをいっぱい舐めて……」

魔物とでも喜んで交尾するメスの獣に変えてあげなさい♡♡」



「ほら……。人間と魔物のエッチな交流……。いいでしょ♡♡」

「最高っ!。。。♡♡♡♡」

「好きな時に好きなだけエロい事出来るなら。。。♡♡♡♡」

喜んで魔物の女を受け入れるぜ。。。♡♡♡♡」

「私以外の魔物のメスも人間との交尾が大好きなので♡♡♡♡」

見かけたらマンコやオツパイを触って誘ってくださいね♡♡♡♡」



「ああ。。。♡♡手コキだけで脳ミンがとるけそうだ。。。♡♡」

「私のマンコから出ているフェロモンが

脳をとるけさせているんです。。。♡♡」

「普通じゃ味わえない幸福感で満たされながらイってくださいね♡♡」

「おお。。。もつと早く扱いて脳ミンをトロトロにしてくれ♡♡」



『うっ。。。イグううう。。。♡♡』

『最高だ。。。死ぬまでずっと。。。』

『魔物とエロい事してたいぜ。。。♡♡』

『おじさま達。。。』

『家族いますよね。。。♡♡♡』

『私の所に連れてきてくれれば。。。』

『もっと気持ちいい事してあげますよ。。。♡♡♡』

『わかった！今すぐ息子を連れてくる！無理矢理にでもな！』



「親父。。。おかしくなっちゃった。。。」

「魔物に変えられちゃった。。。」

「お父様は。。。良い方向に変わったのです♡♡♡
魔物と人間が仲良く交尾すれば。。。それが分かるはずよ♡♡」

「あなた達も。。。私のマンコフェロモンをたっぷり吸って
欲望に忠実な獣に変わしましょう。。。♡♡♡」



「もう……。脳ミソがとろっとろになってるんじゃない♡♡」

「……。魔物の女なのに……」

交尾してえ……。♡♡♡♡♡

「恋人みたいに……。ネツトリとした発情セックスしてえ♡♡」

「そうそう……。心が魔物を受け入れれば……」

後は簡単に改造出来るからね……。♡♡♡♡♡

「旦那様の淫紋の力で……。フラッ♡♡」



魔物殲滅部隊「魔断」の隊員だった彼女は
人々を魔物に変える悪魔のような存在となった。。。。

そのスーツのせいで物理攻撃も効かず
他の隊員達も次々に魔物に変えられたと聞く。。。。

快楽を教え込まれた人間を元に戻す手段も無く
ただ。。。。ひたすら魔物達が増え続けるこの世界。。。。

きつと。。。。人類が減び

全ての人が魔物に変わる日も。。。。そう遠くはないだろう。。。。



製作
サークル「聖クロネコ騎士団」

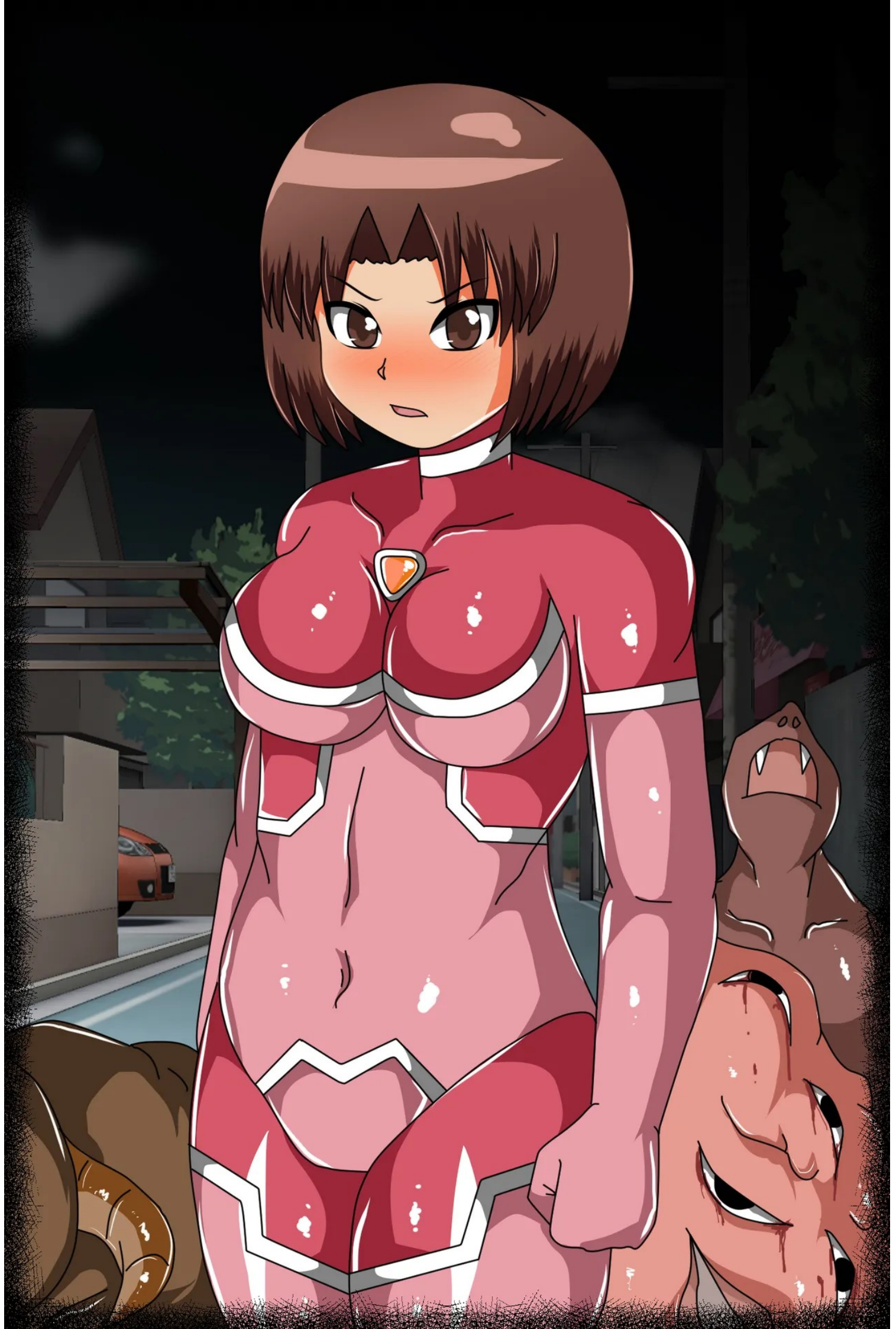
ブログ

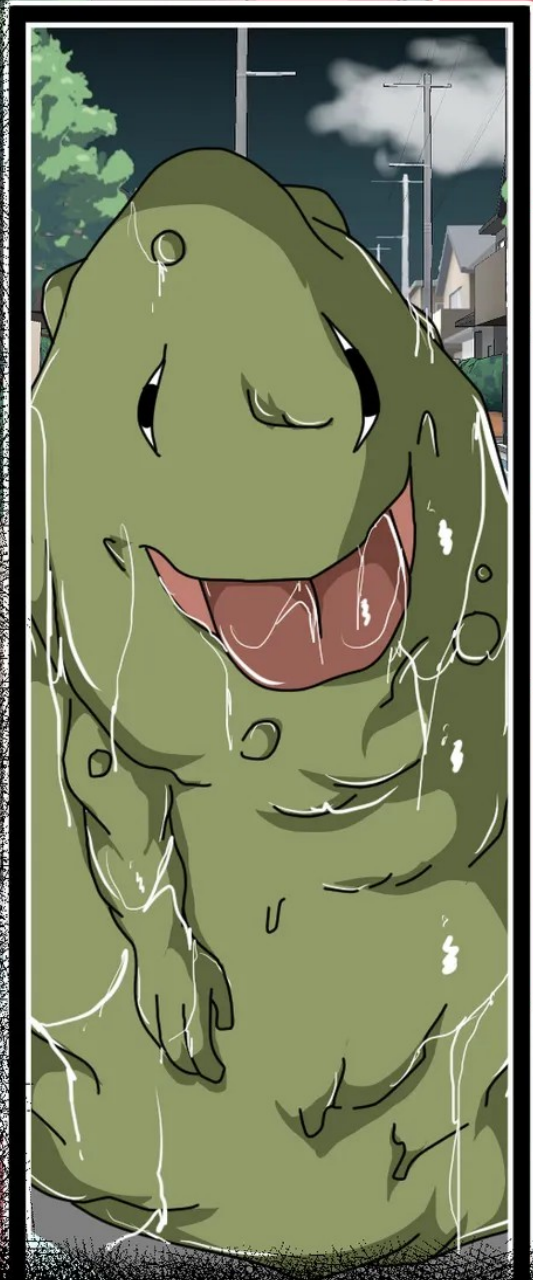
<http://seikuroneko.blog137.fc2.com/>

著作者の許可無しに
この作品をインターネット公開
無断配布する事を禁止します。

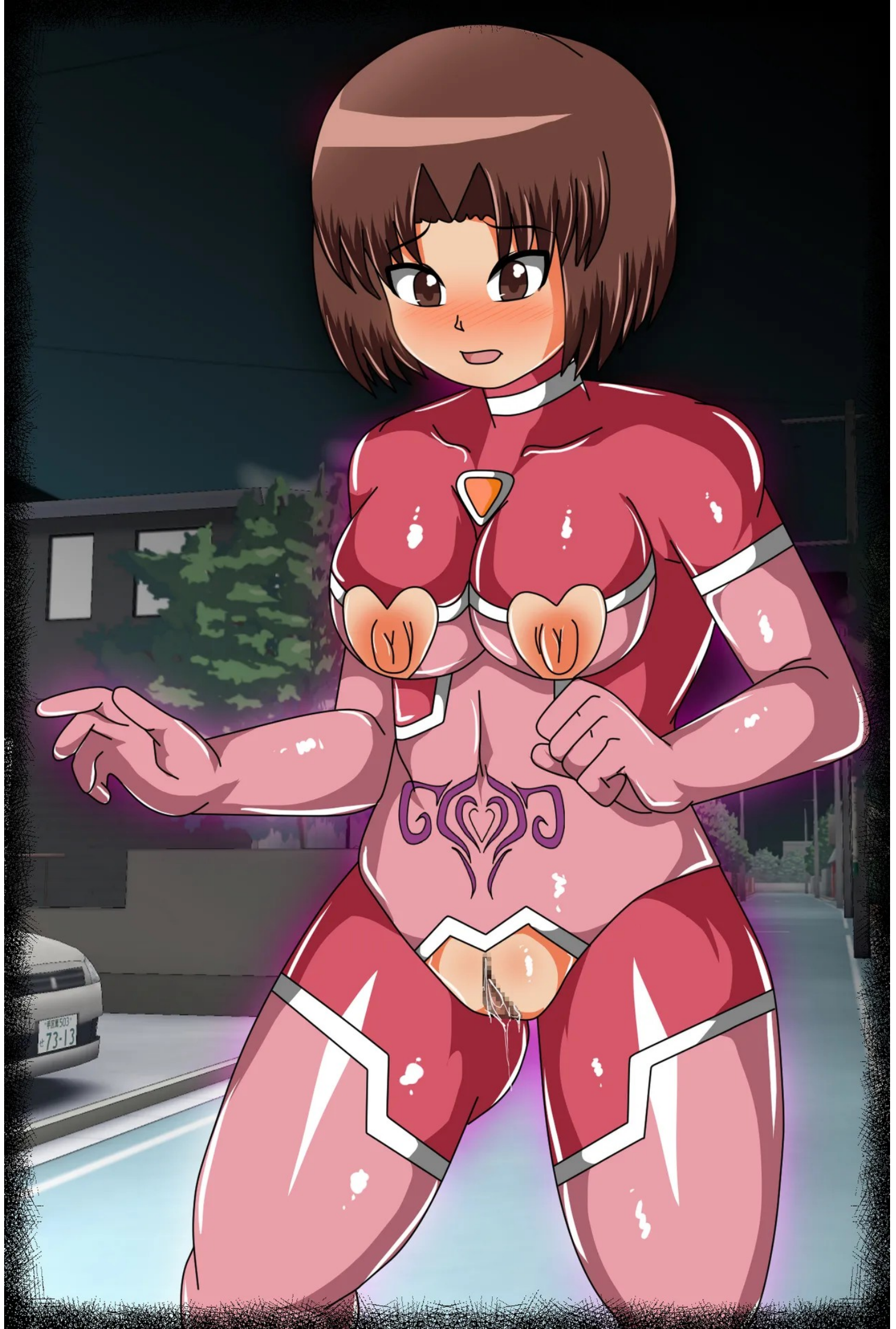
CG集画像
台詞無し

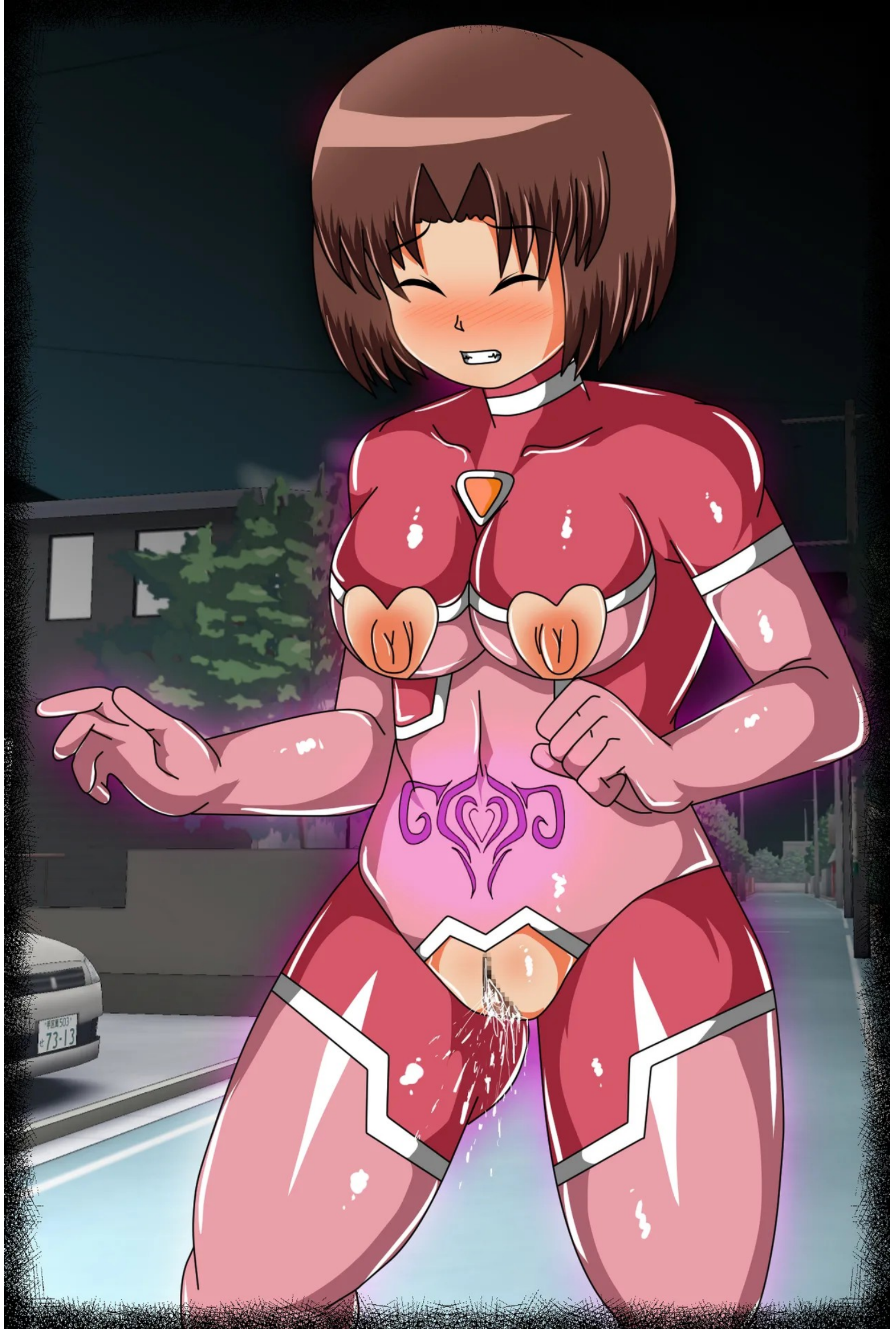




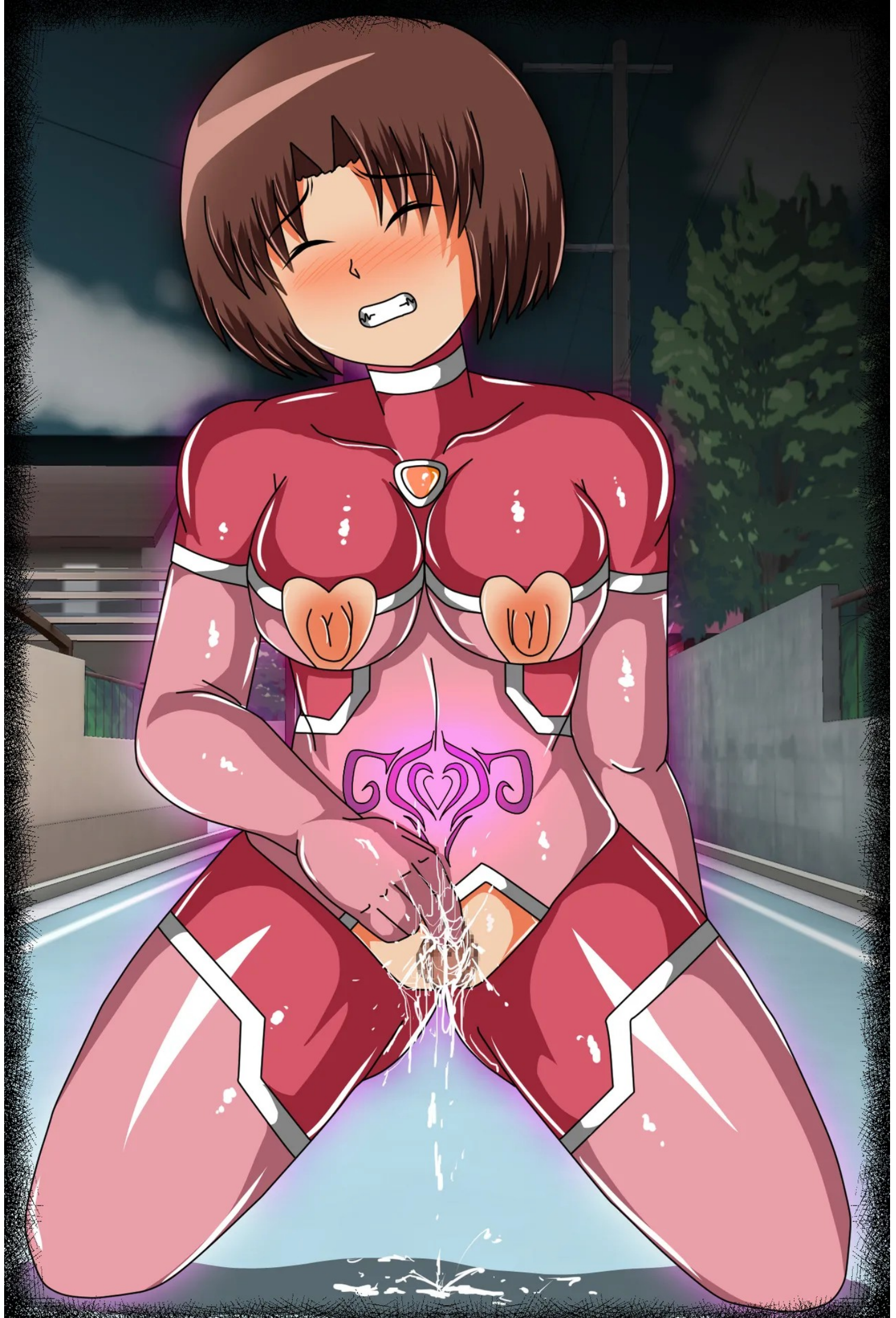




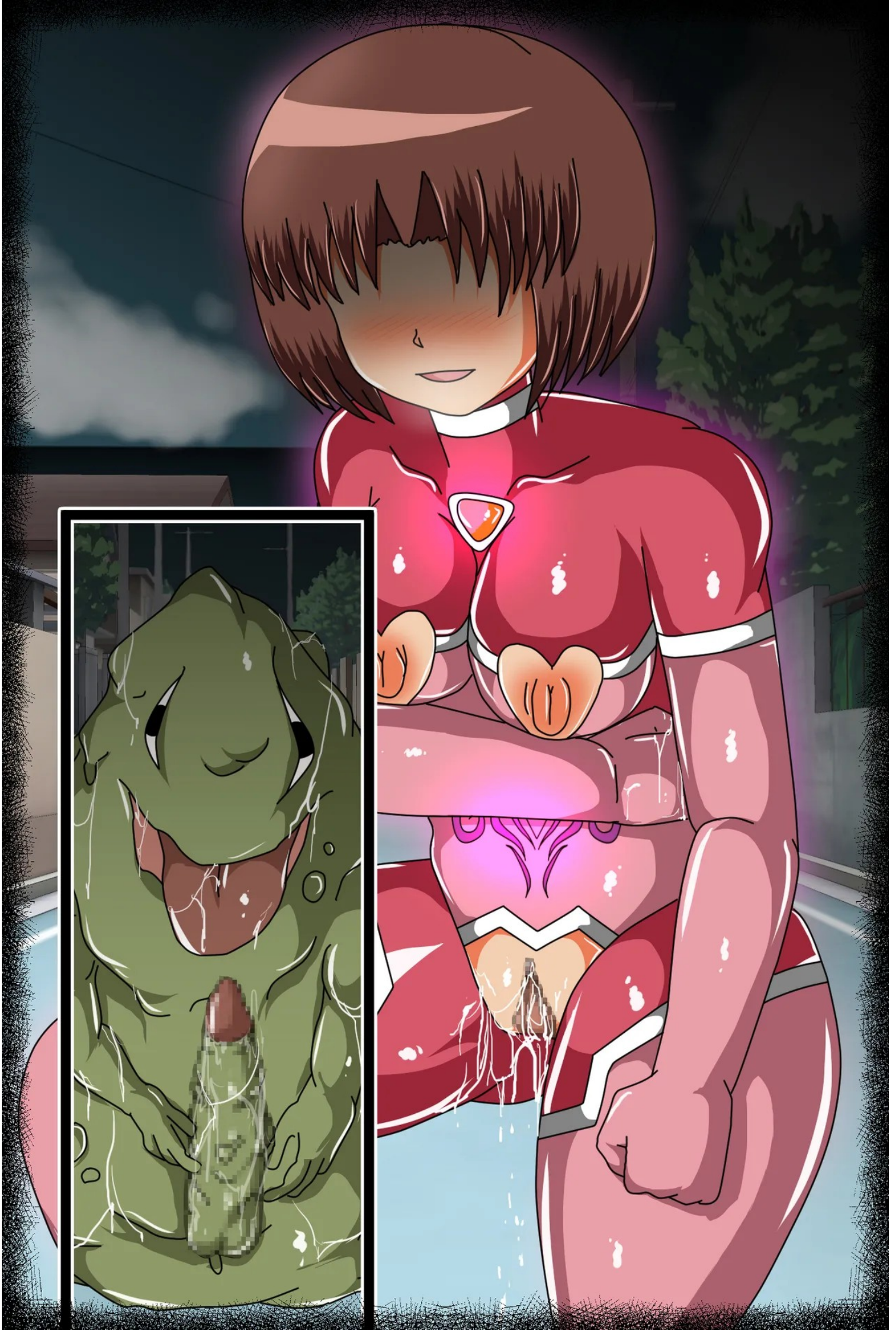


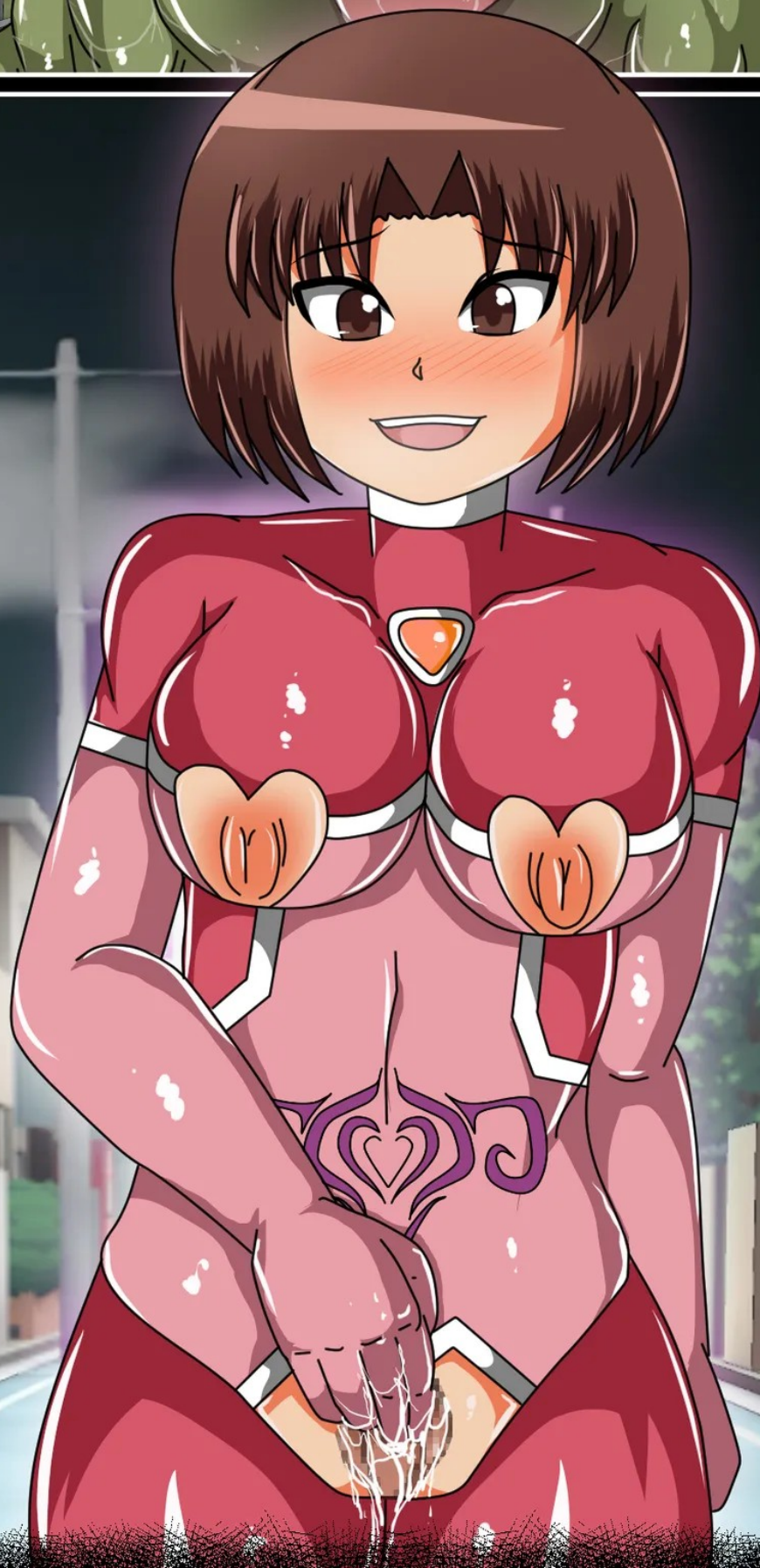
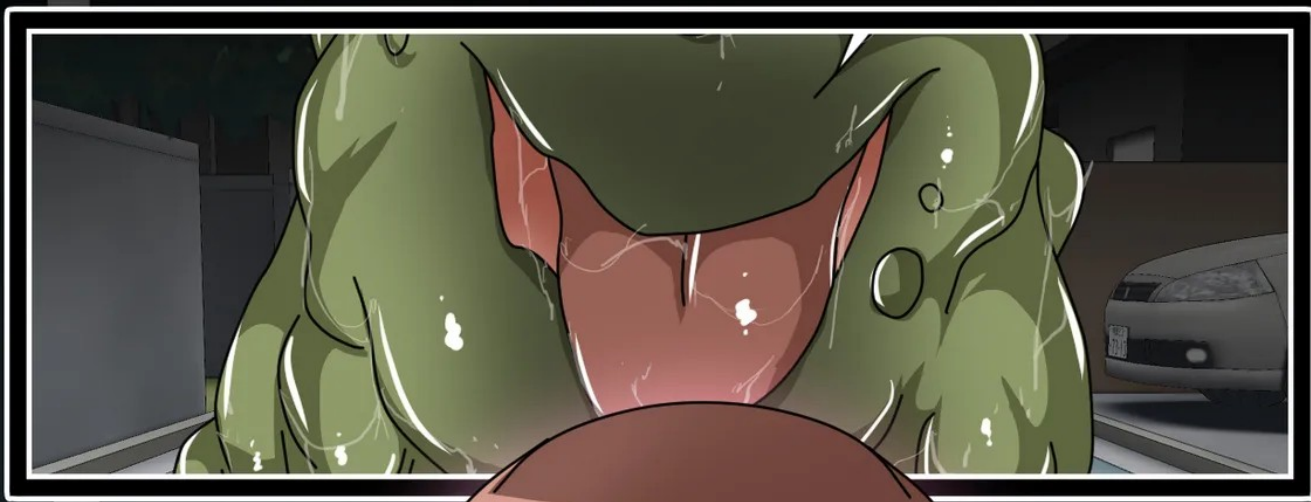


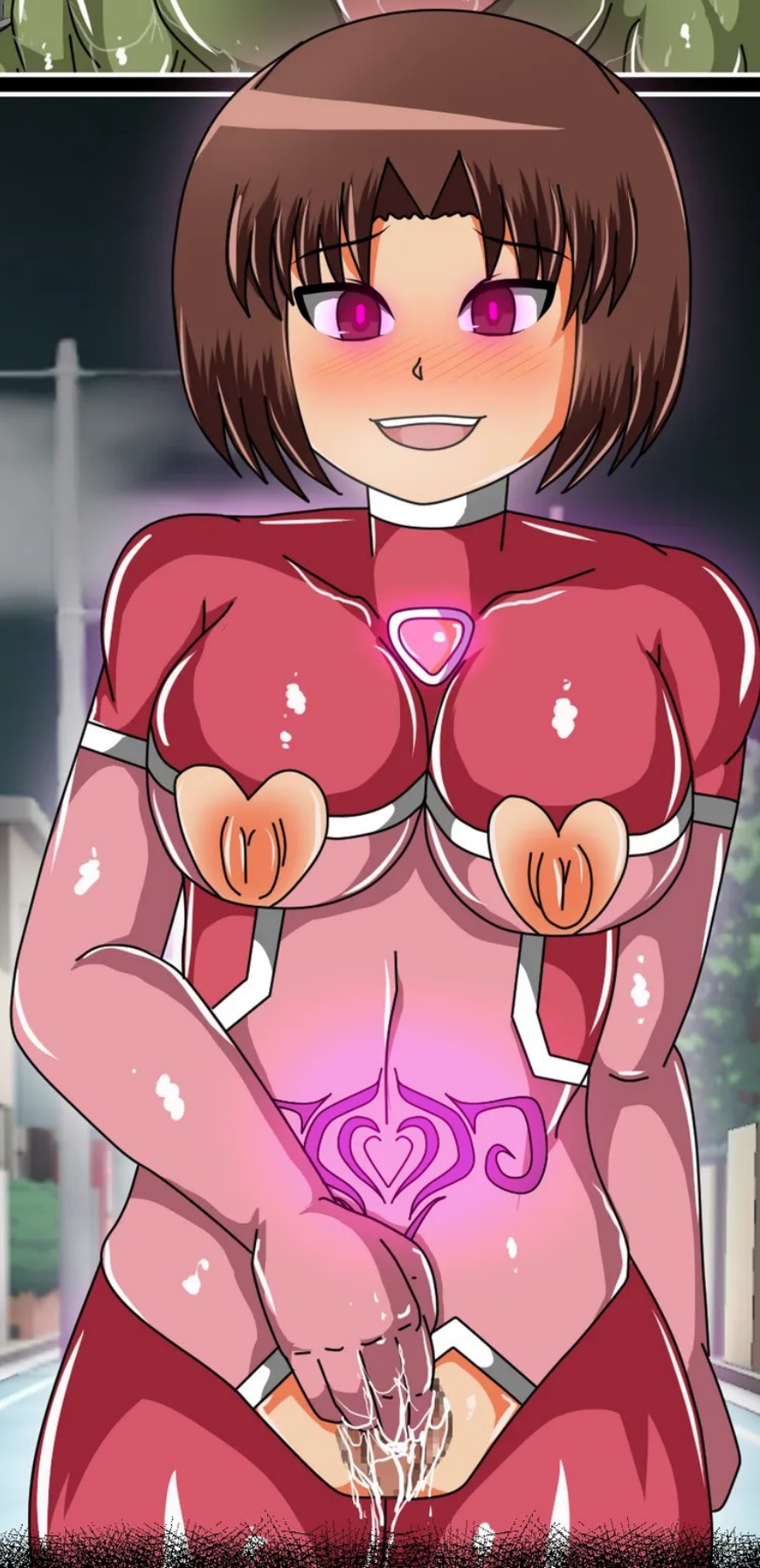
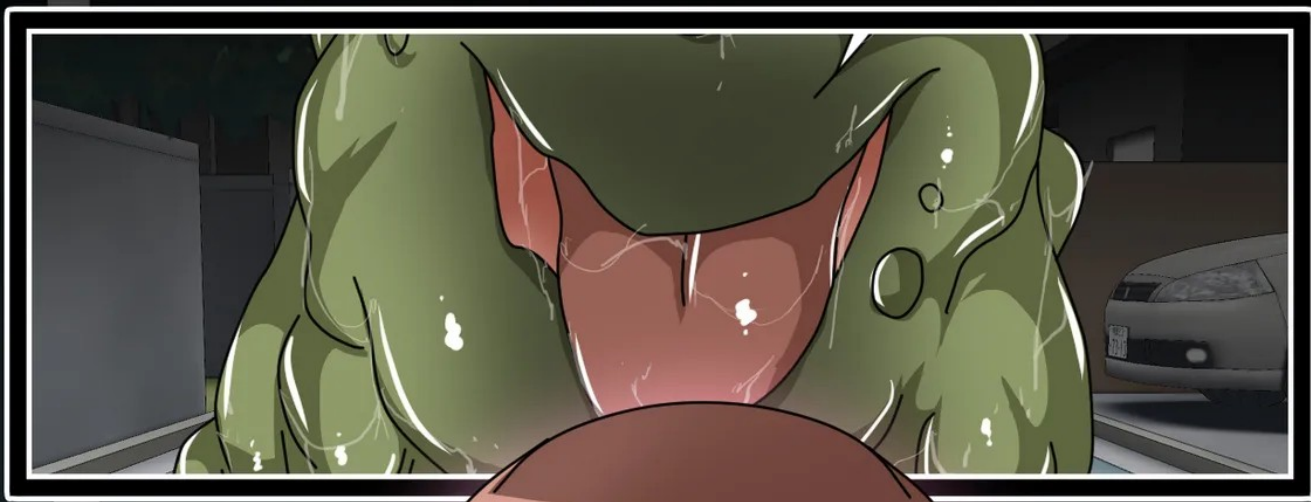








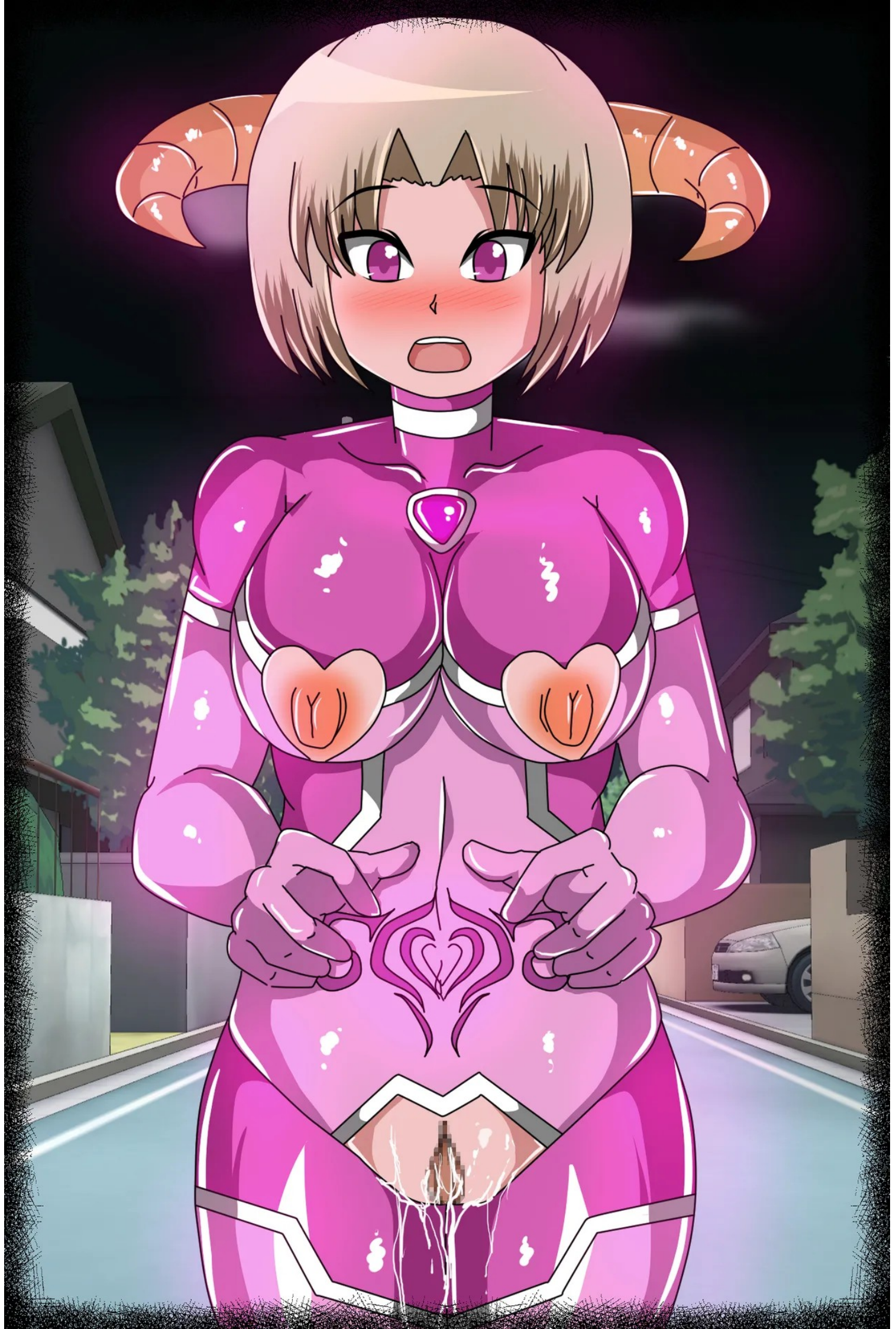


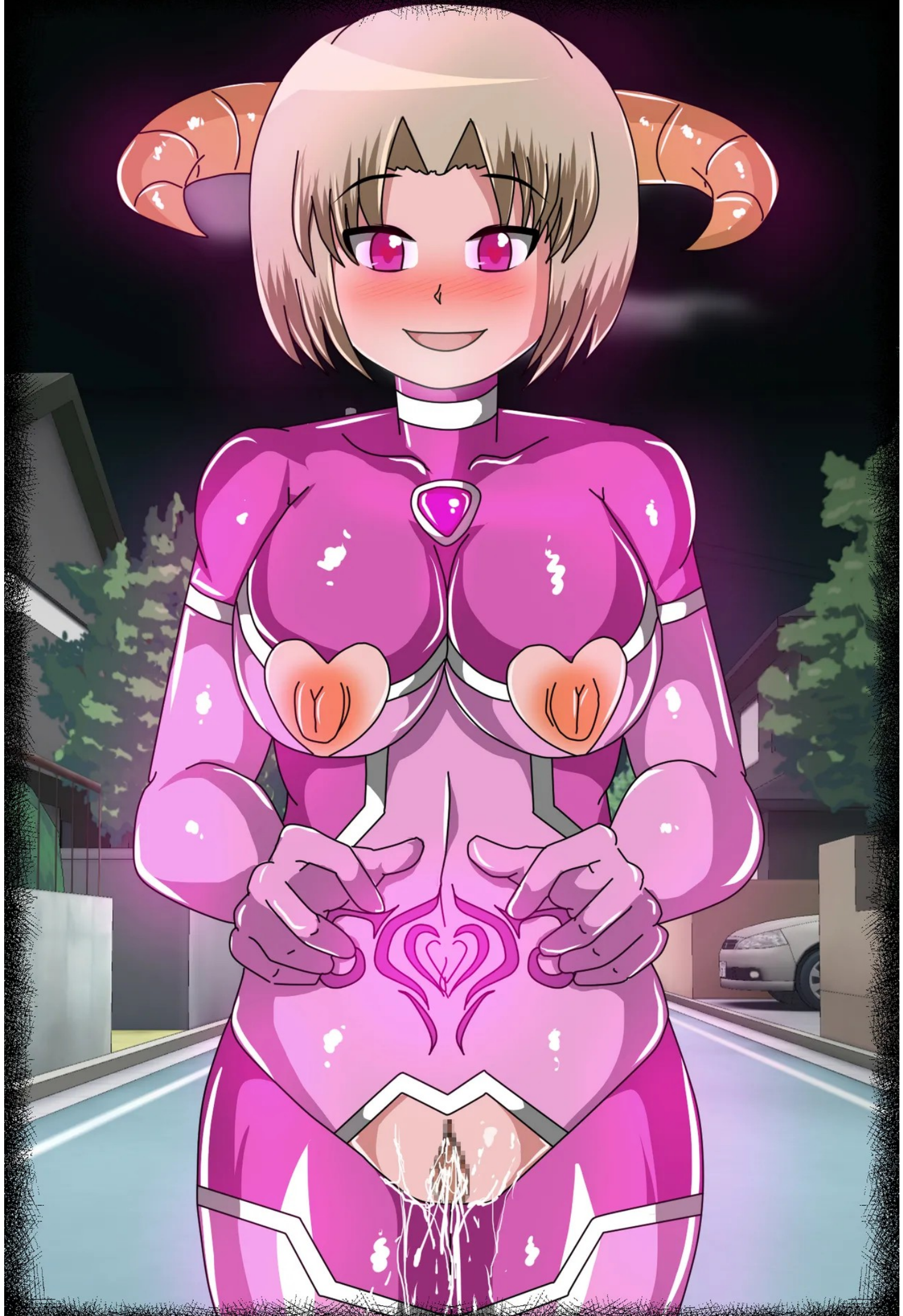


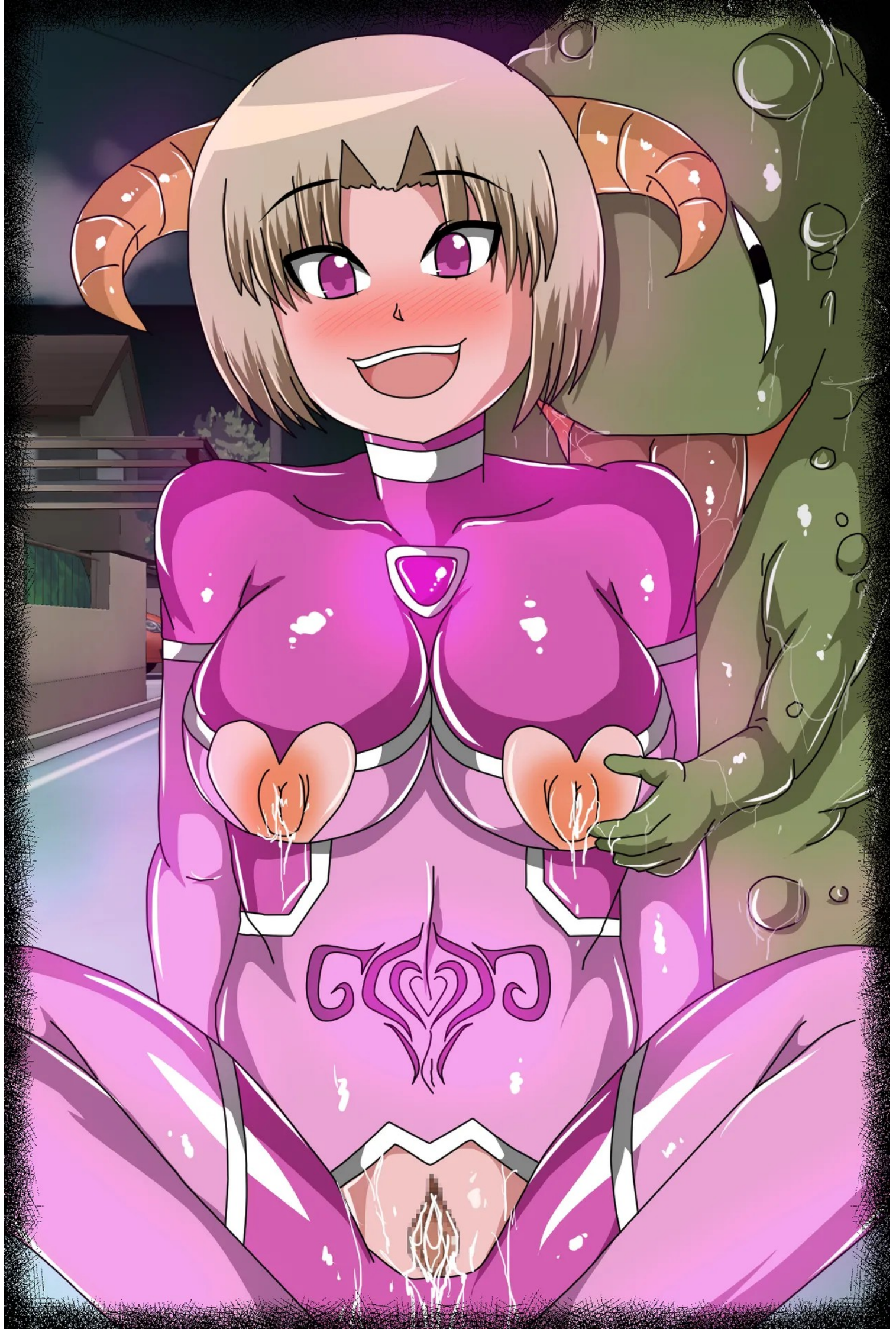


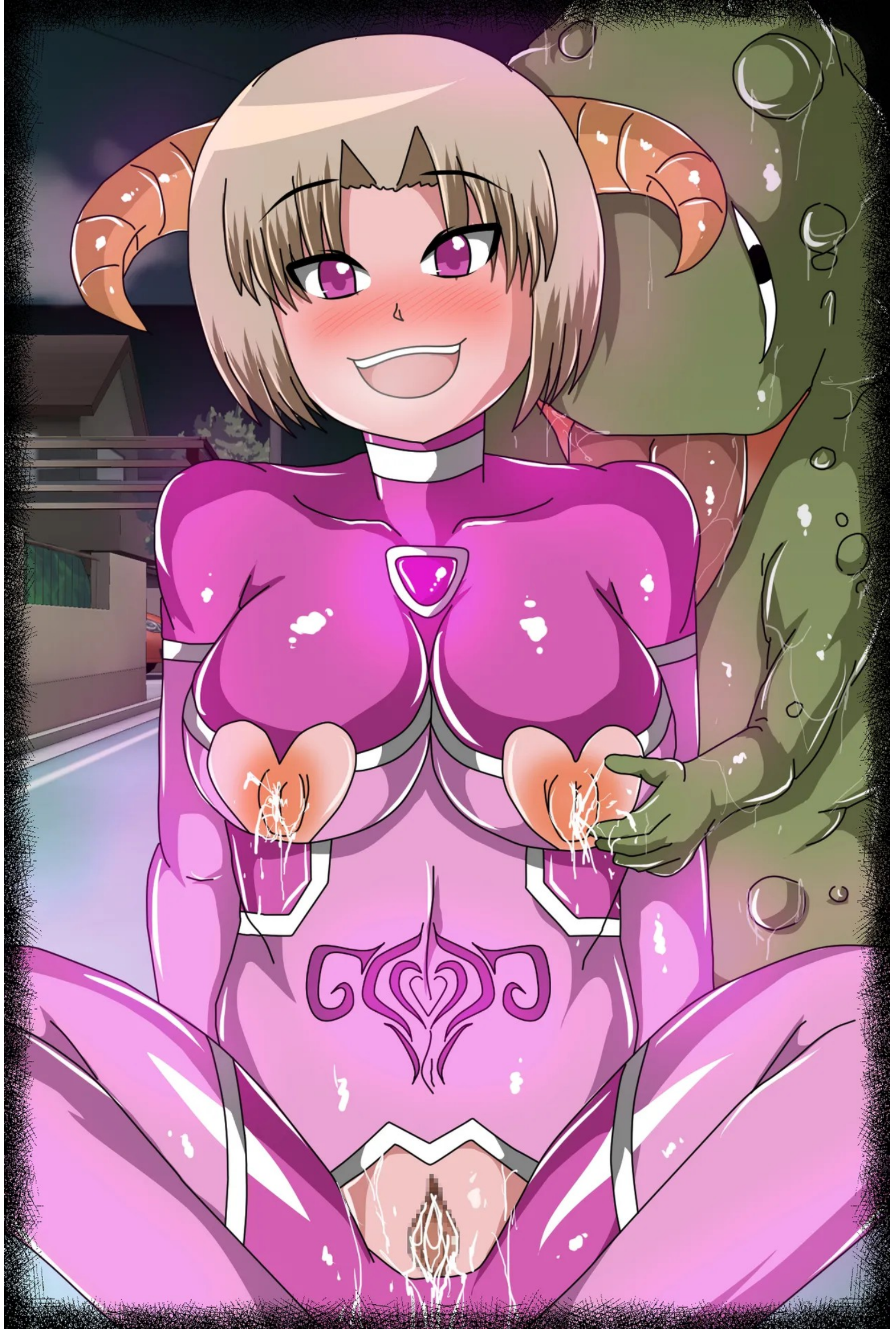


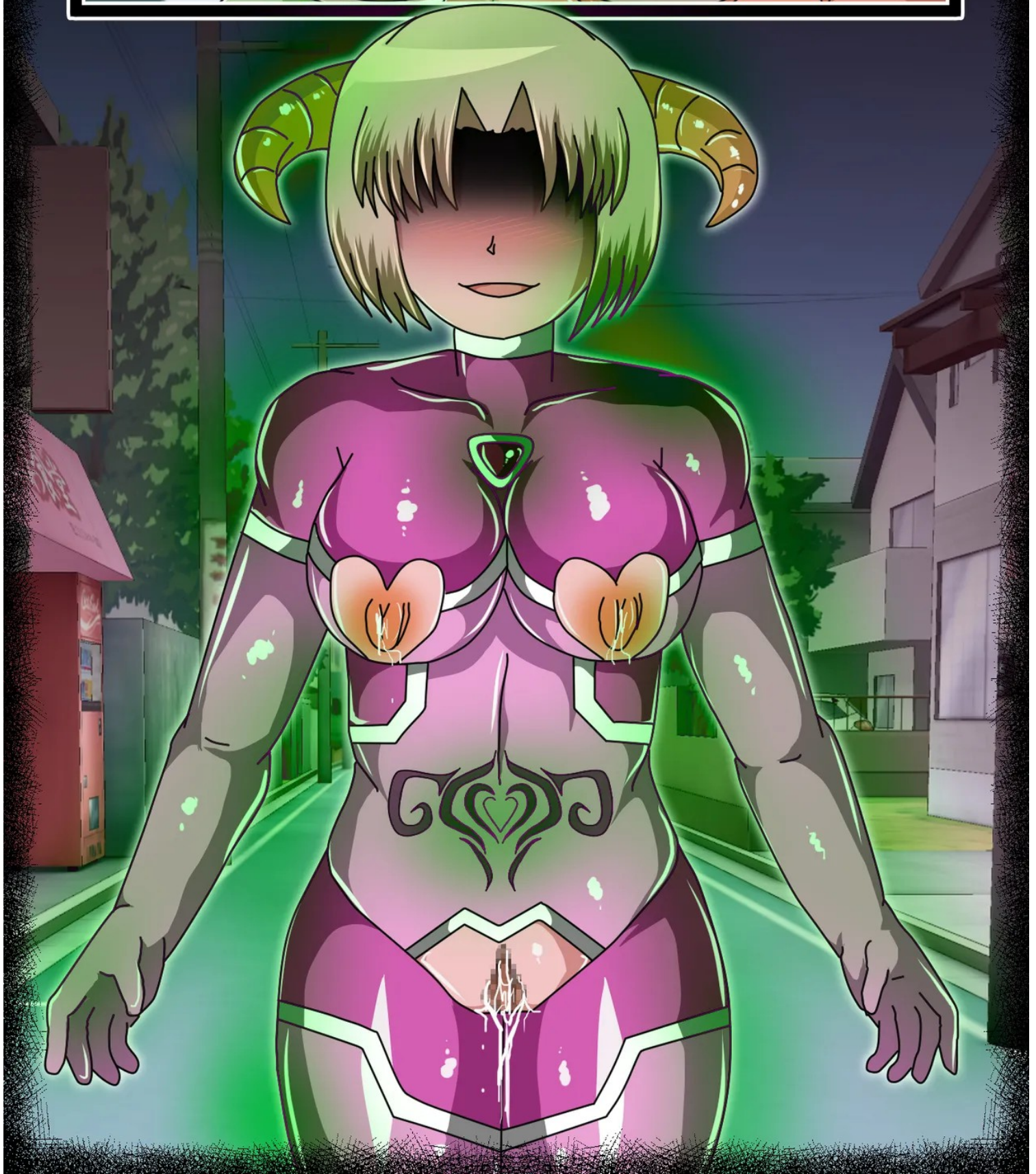


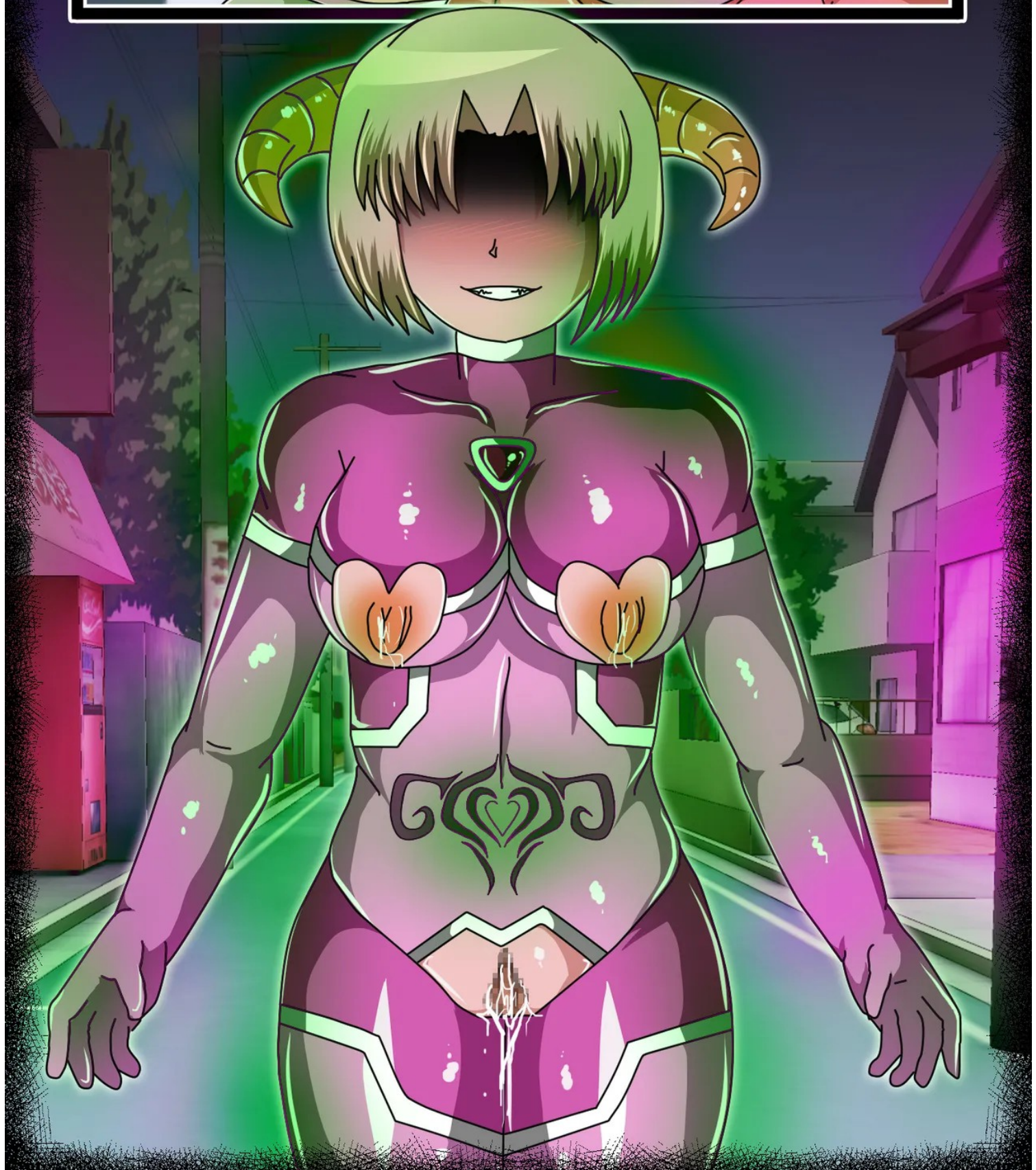






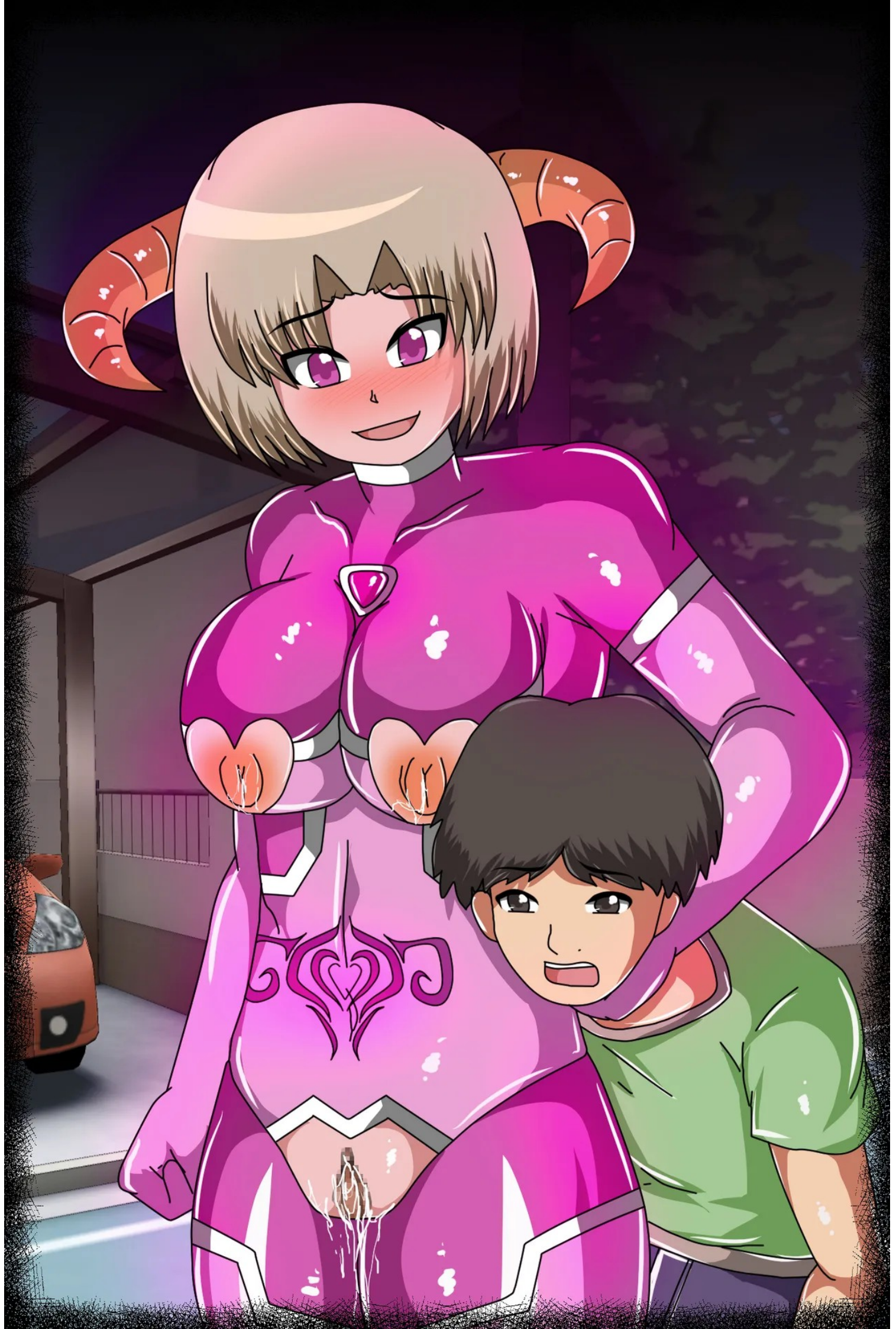


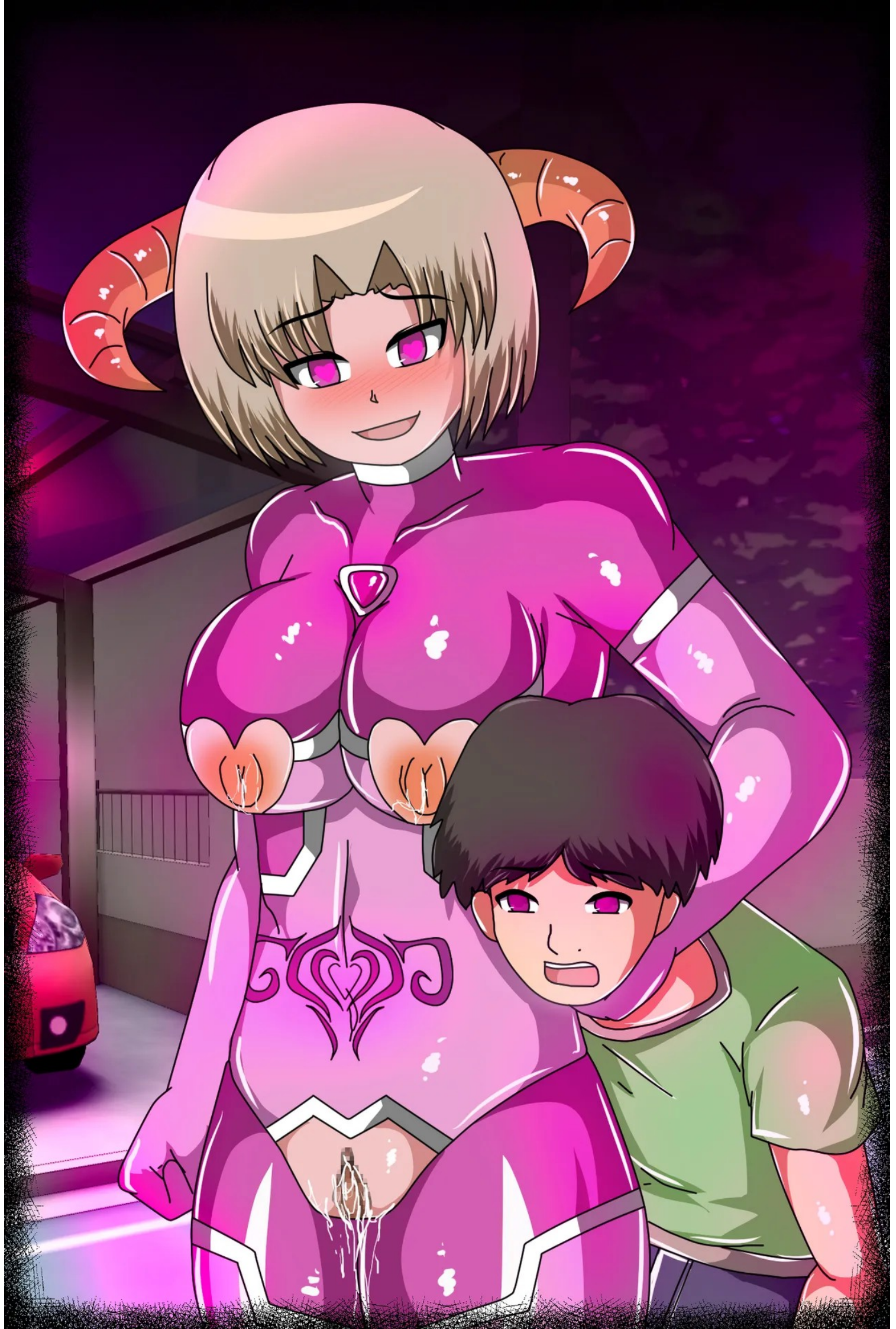


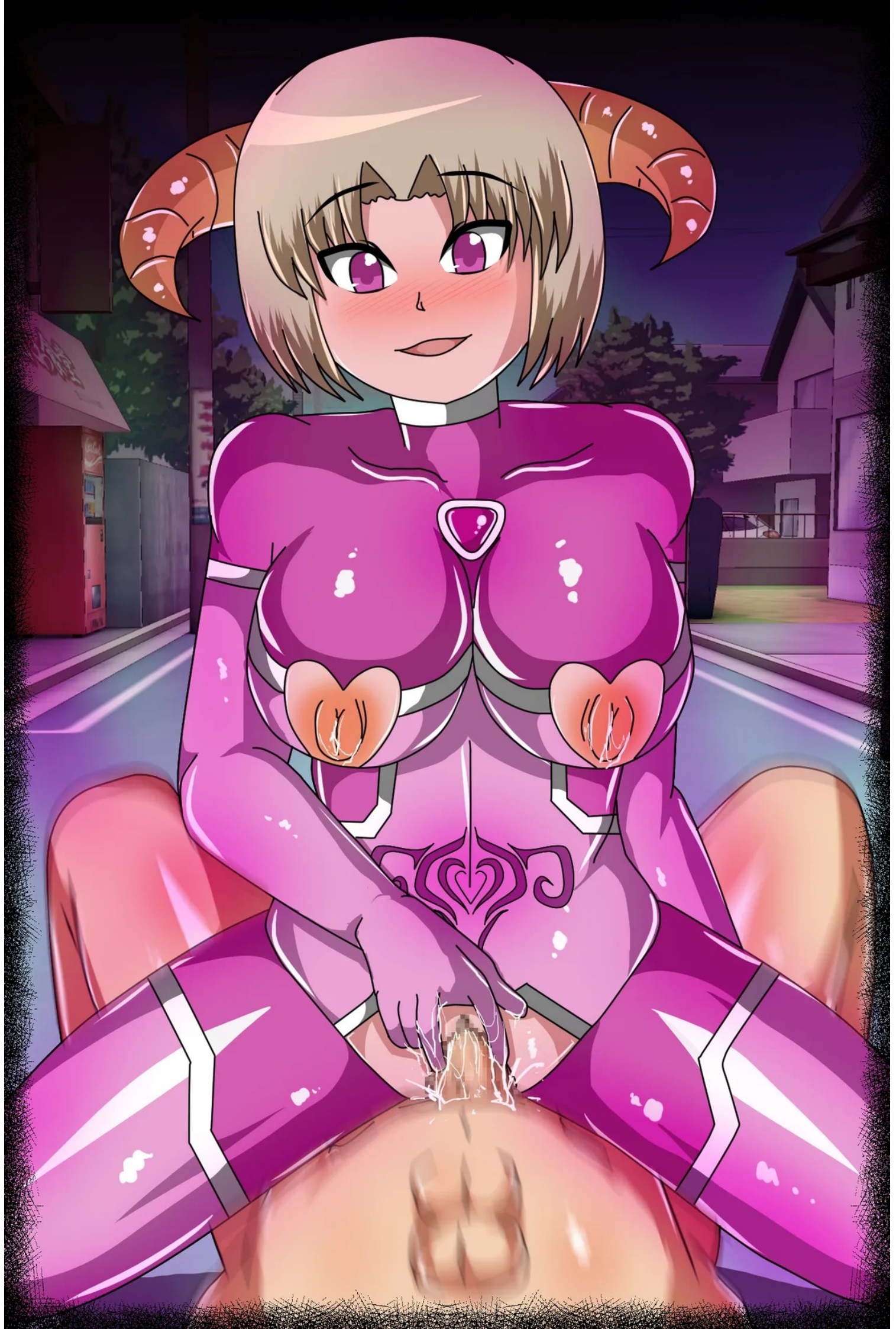


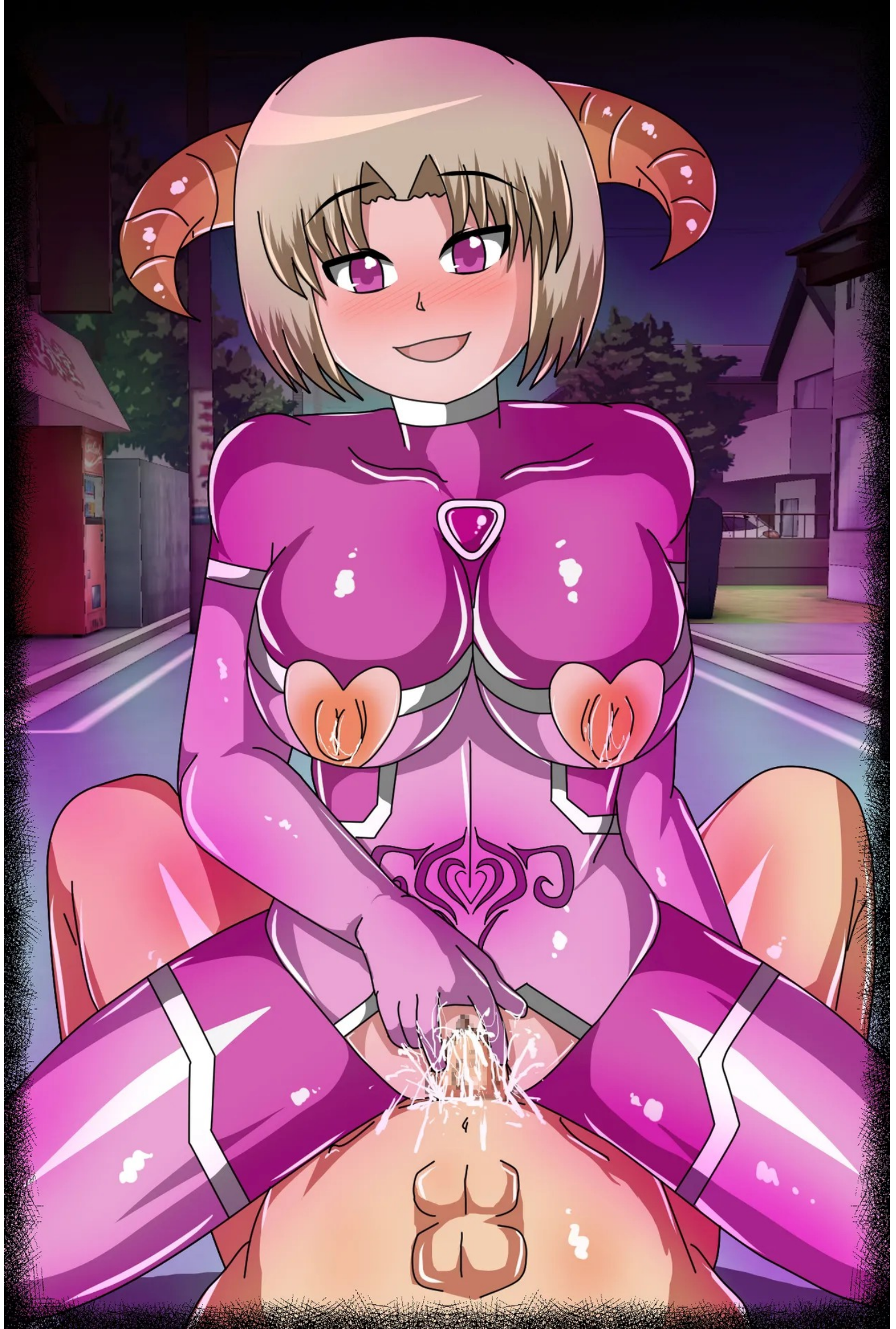










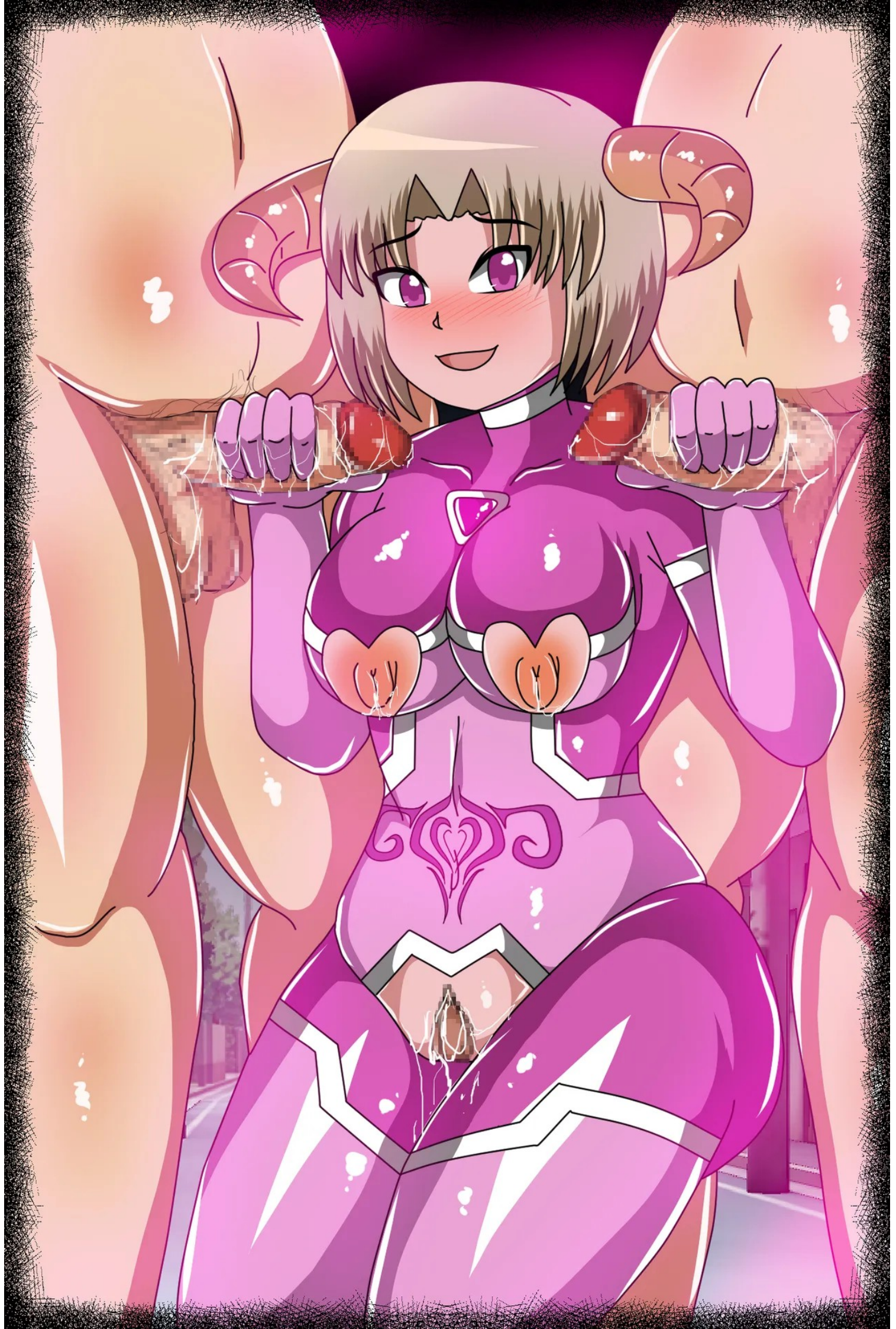


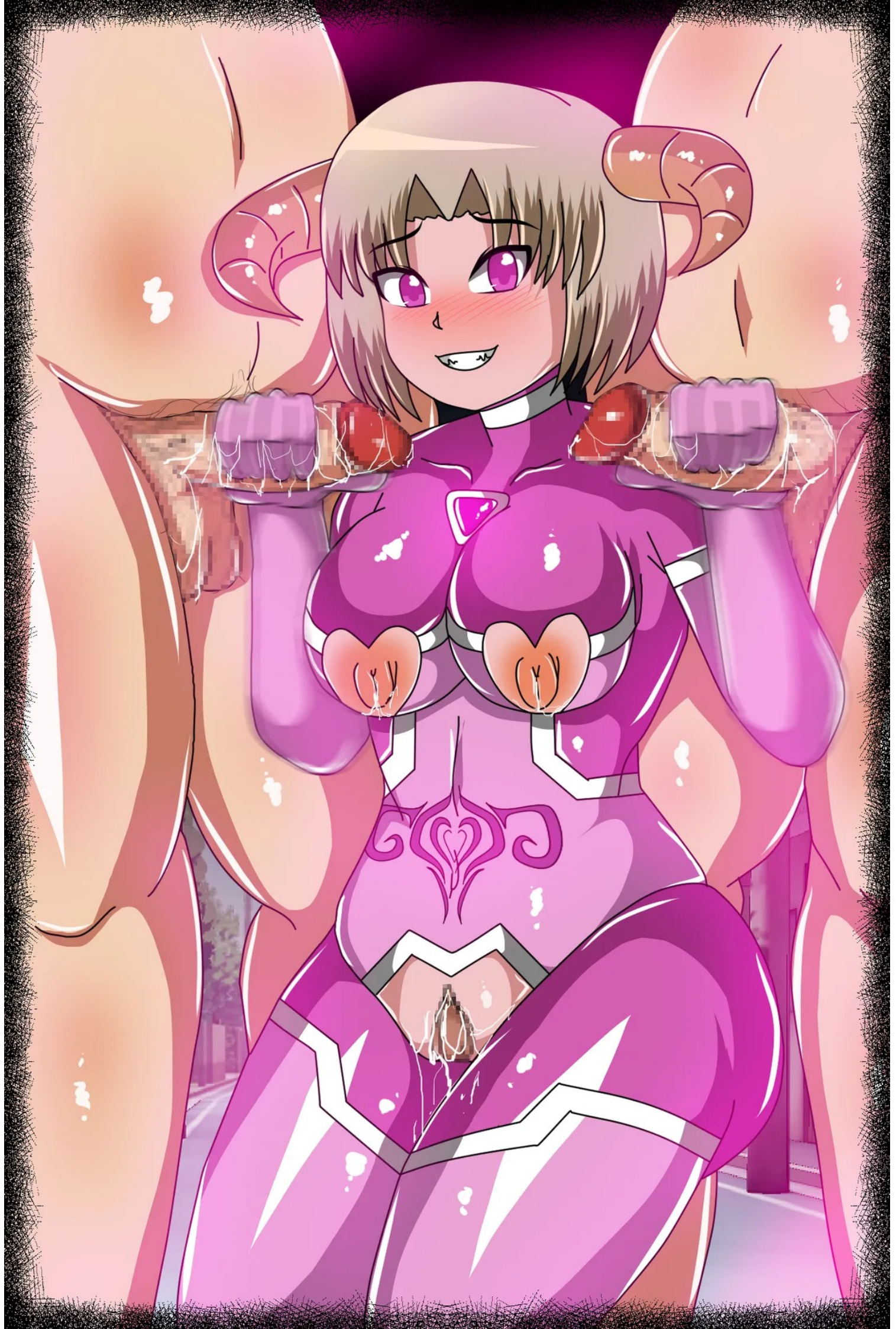


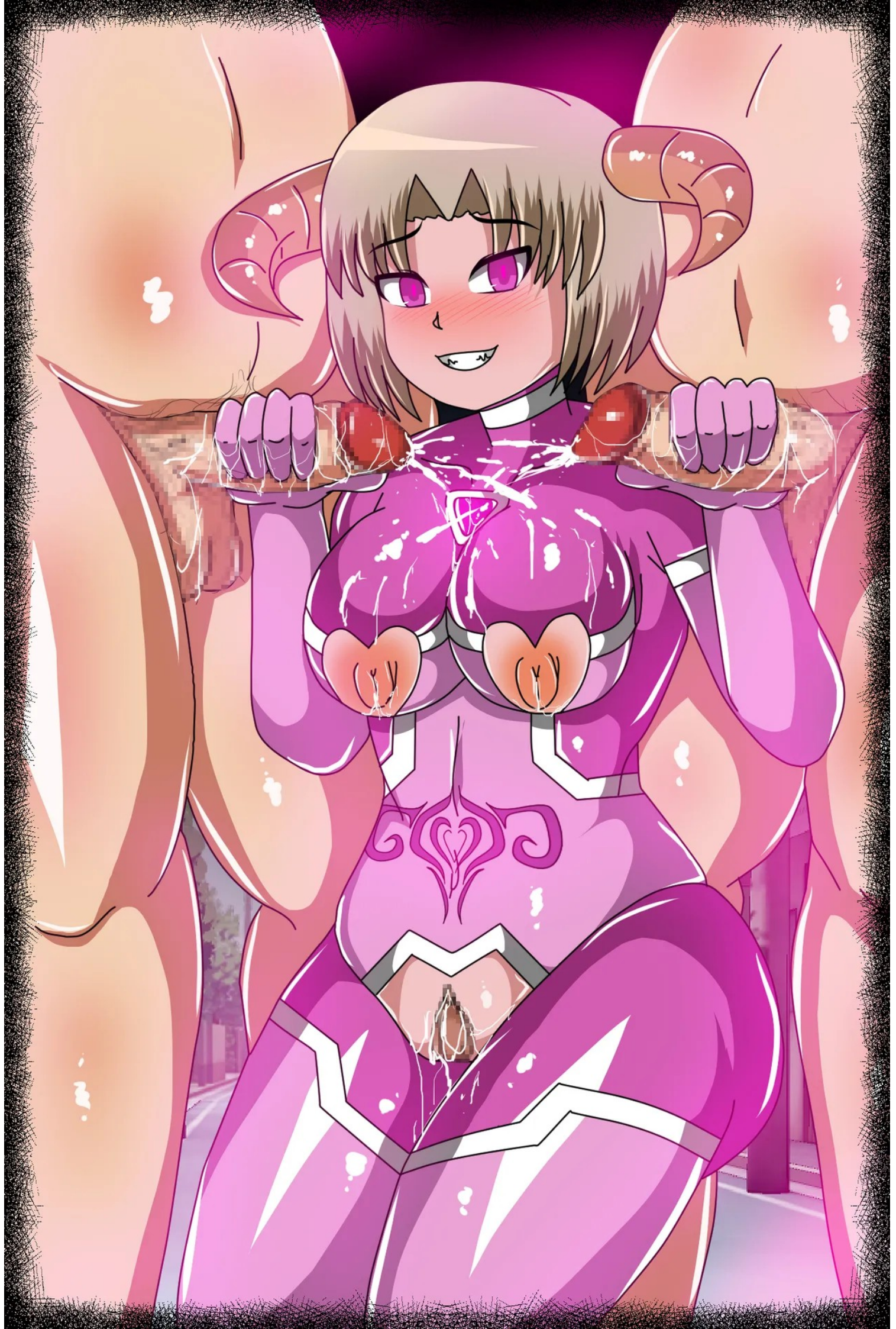


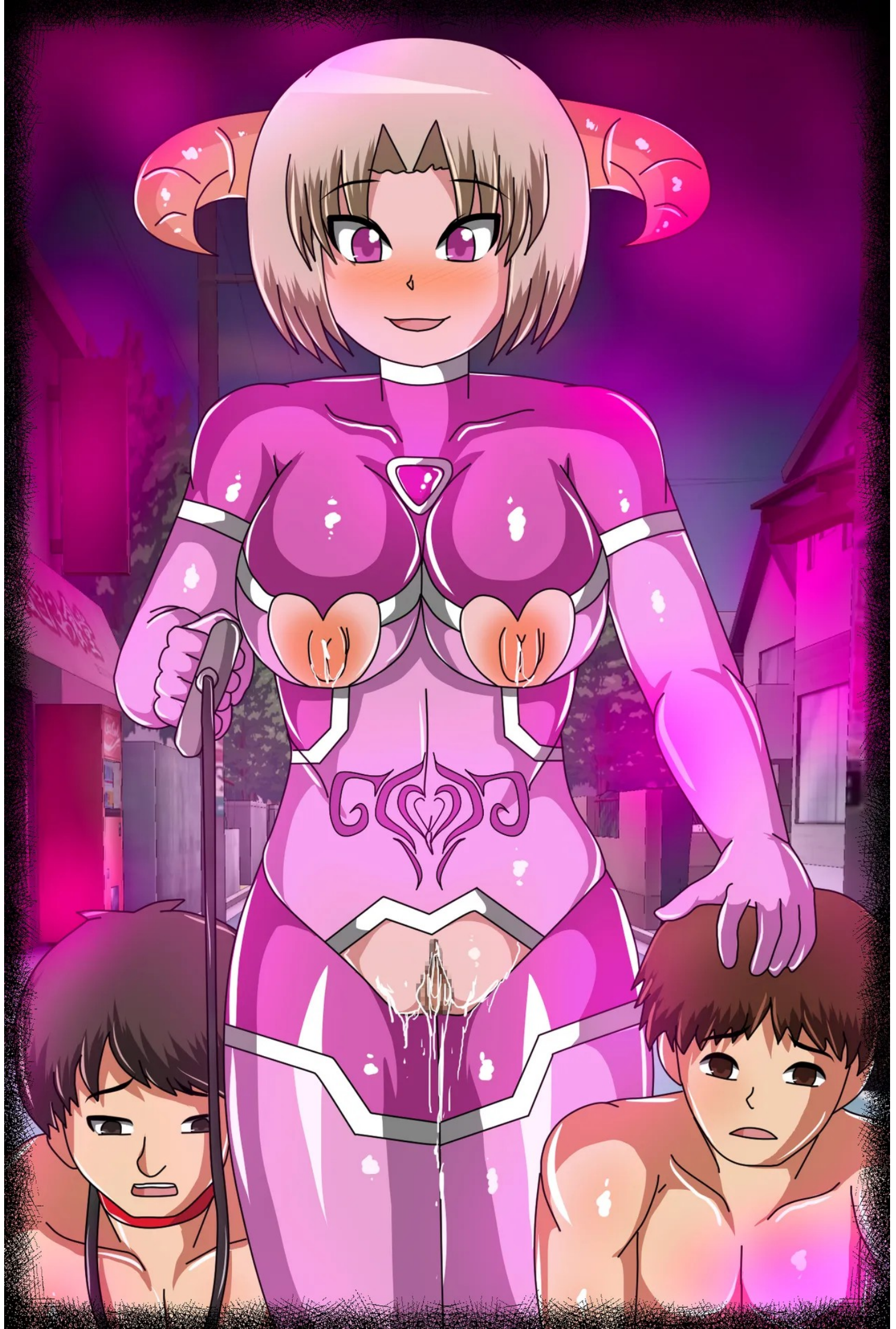


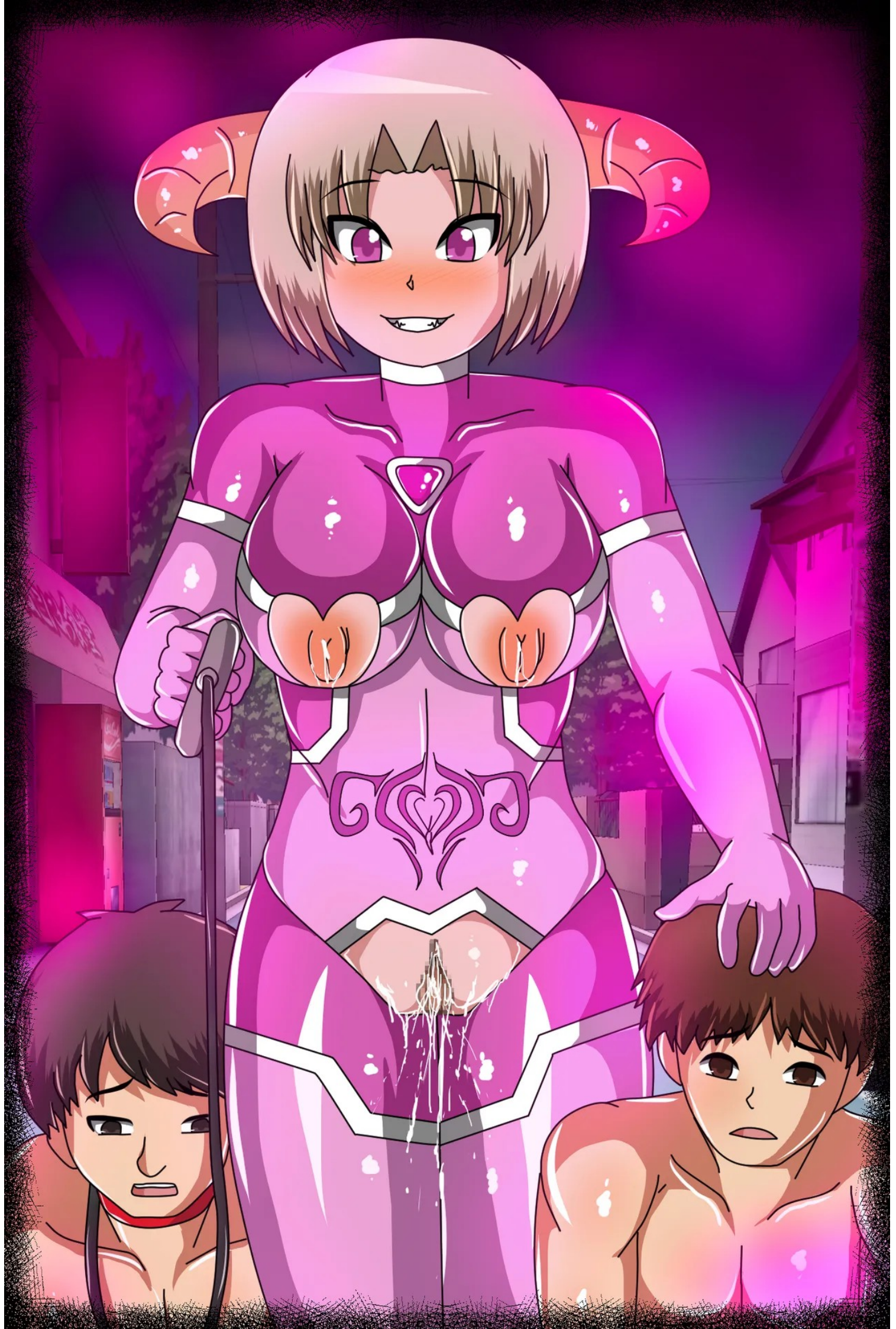
















CG集画像

台詞無し

(効果音有り)



クッ

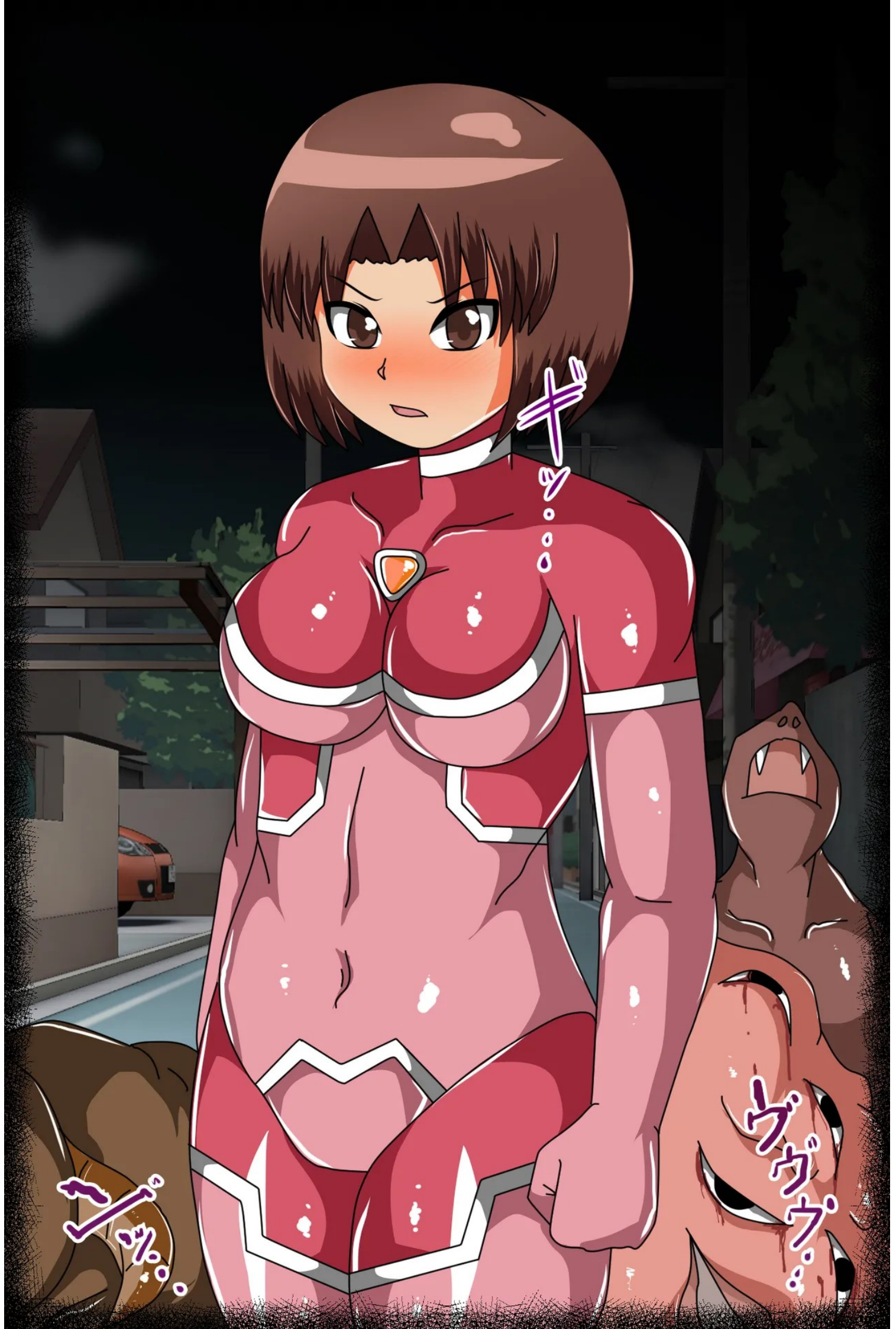
ル

ル

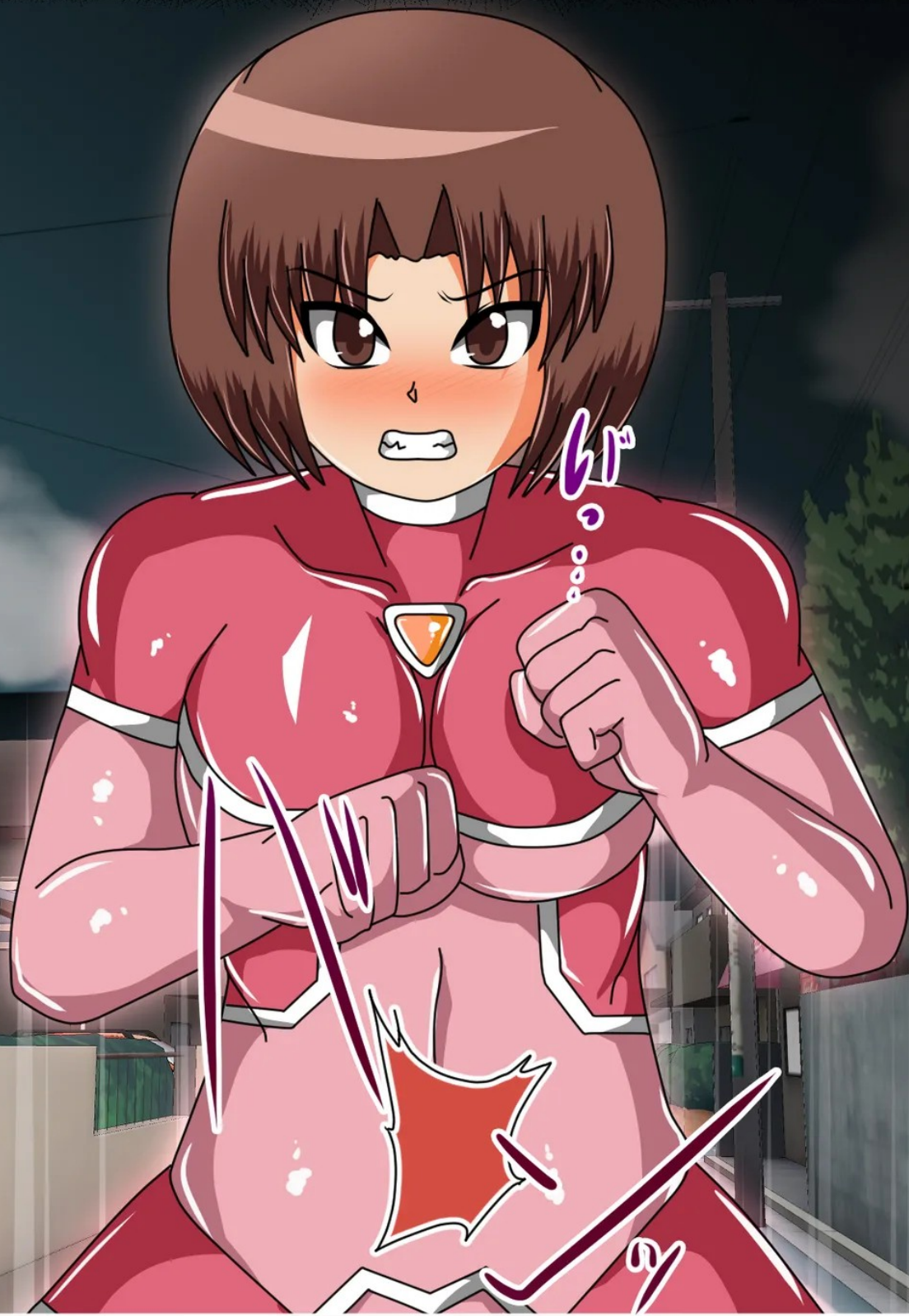
ッ

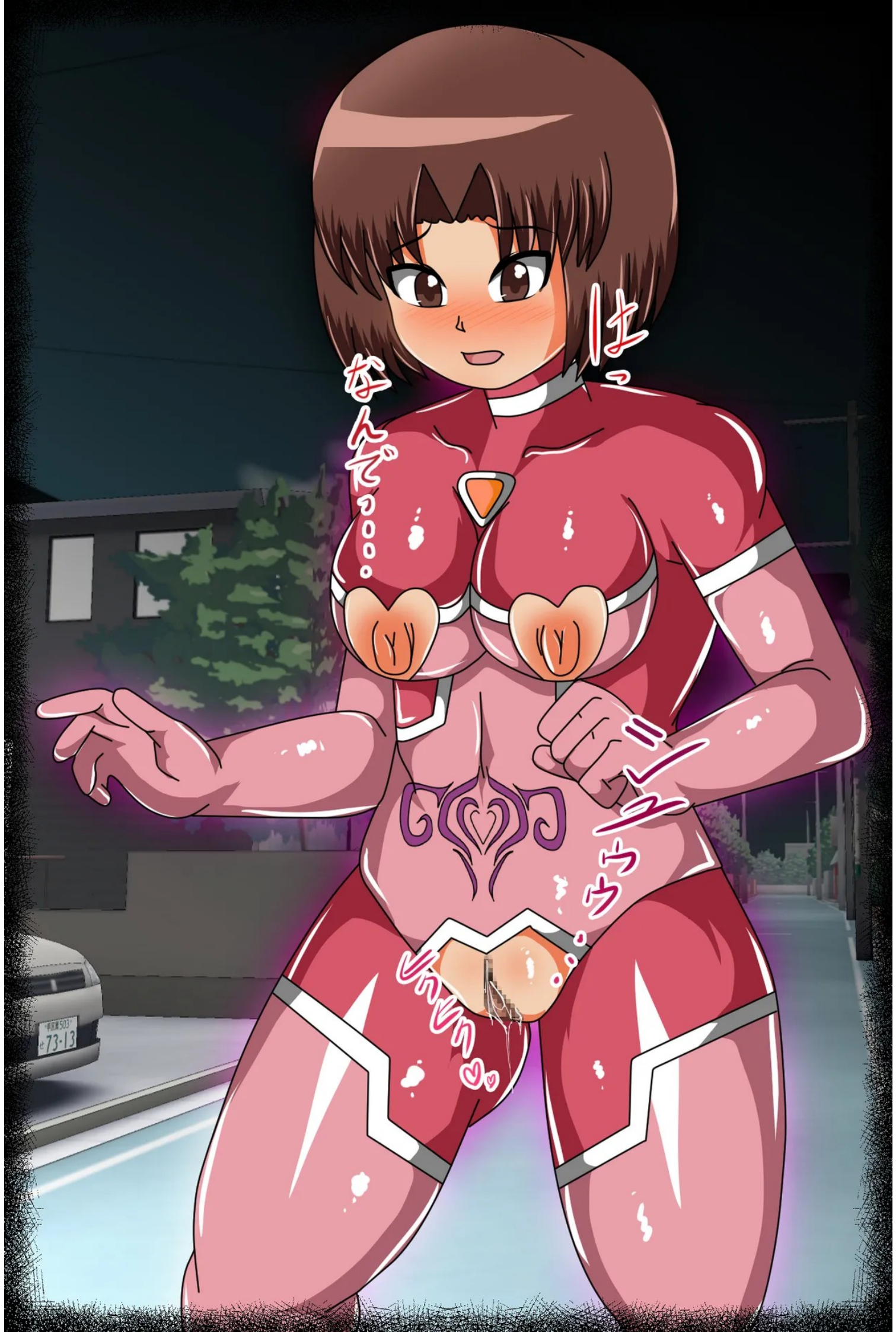
ッ

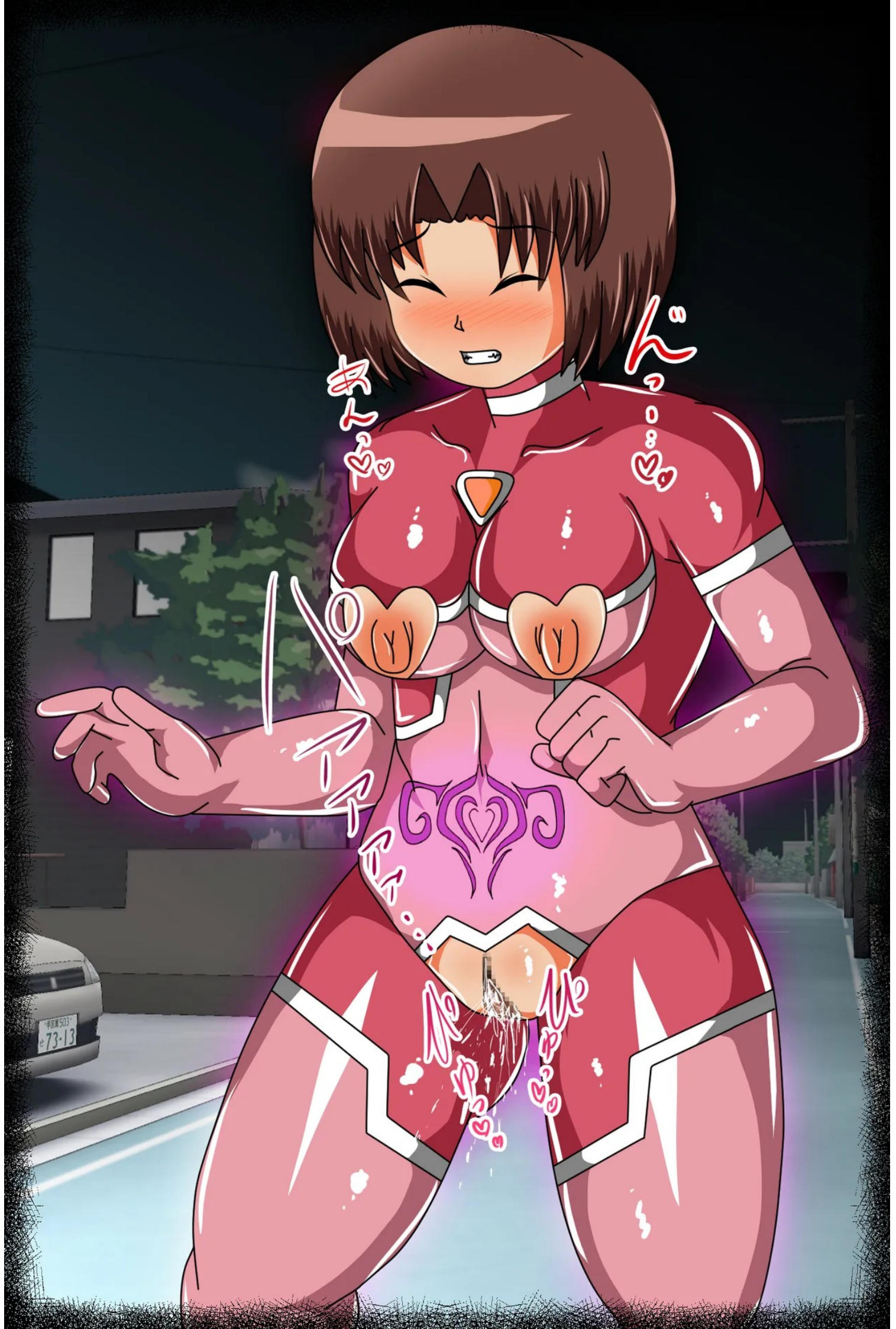
ッ

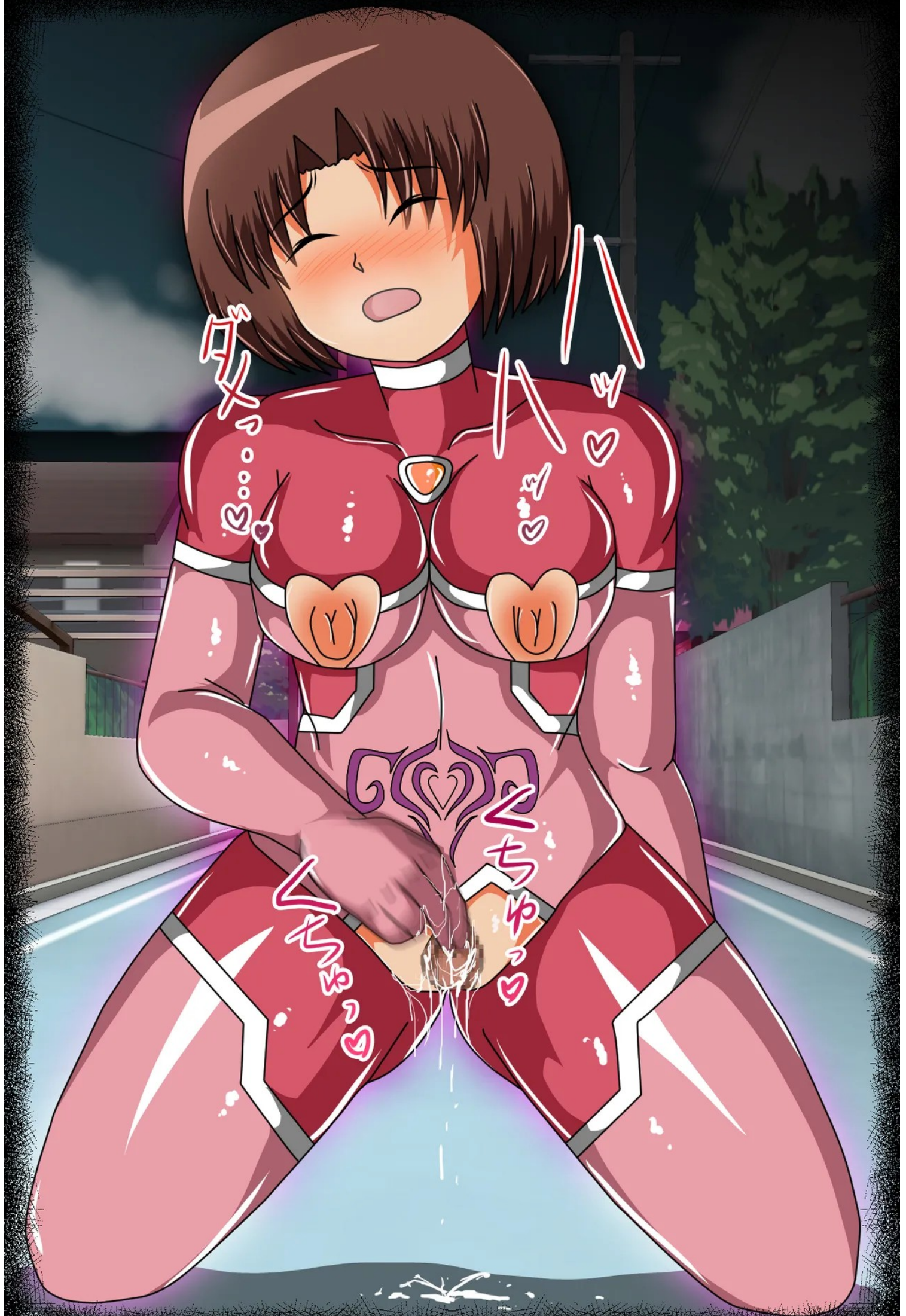






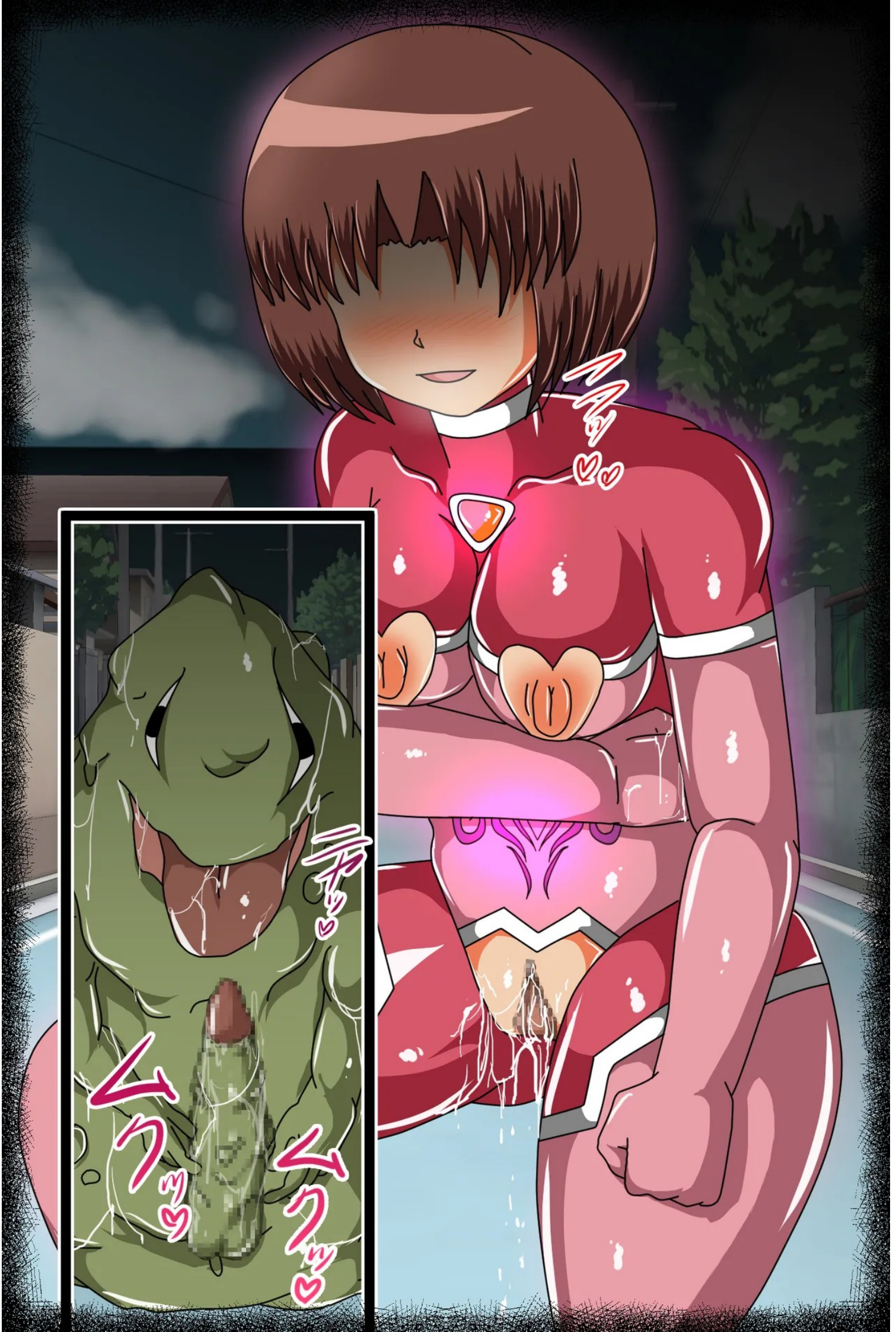




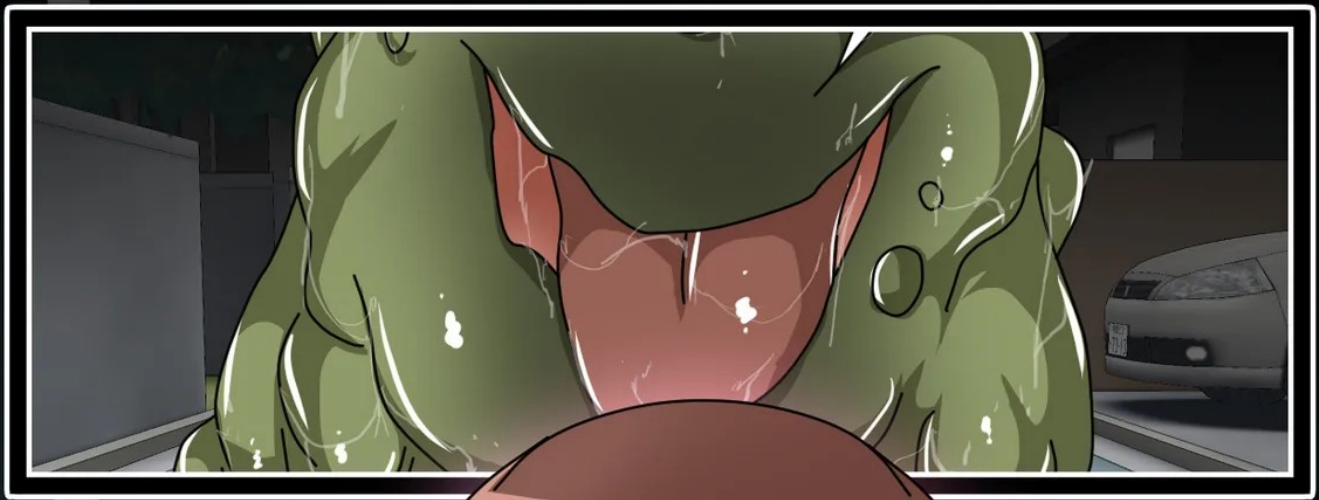
















ぐいっ
♡♡

ぐ
ちゅっ
♡♡

ぐ
ちゅ
♡♡

いっ
♡♡

ちゅ
♡♡



